

特定非営利活動法人 (NPO法人)

全国学校軽音楽部協会 監修
発行



keionkyo.org



Twitter



Facebook



YouTube

DiGiRECO.JR

デジレコ・ジュニア 2022年9月号 VOL.54

全国の高等学校軽音楽部に無料配布!

本誌は高等学校軽音楽部以外には配布しておりません。
写真掲載に関しては各高等学校の許可を得ています。

2,039校



ギター、ベースの「音作り」の基礎を知ろう!
音楽のための「音学」

ロックの解体新書

ONE OK ROCK / The Beginning
SHISHAMO / ほら、笑ってる
SUPER BEAVER / らしさ
ASIAN KUNG-FU GENERATION / リライト
Official髭男dism / Tell Me Baby

REPORT

KEIONGAKUBUSEMINAR

軽音学がセミナー

静岡県: 浜松学芸高等学校
富山県: 富山県立富山工業高等学校

KEIONGODOENSOUKAI

軽音合同演奏会

京都府: 舞鶴赤れんがパーク
神奈川県: 昭和音楽大学

軽音協イベント・カレンダー

特定非営利活動法人 (NPO法人)

全国学校軽音楽部協会

TEL : 045-913-0901 info@keionkyo.org



KEIONGAKUBUSEMINAR

軽音学ぶセミナー

軽音楽部に関する基礎知識や実技を一挙に学べる



8/21 (日) 兵庫県

兵庫県立武庫荘総合高等学校

参加無料

複数の高校を集めた技術講習会です
パートごとに初級・応用の講義を実施
生徒はプロの講師から直接教わります
参加校・顧問間の交流を促進します

KEIONGODOENSOUKAI

軽音合同演奏会

練習の成果を発表し、他校からも学べる練習試合



9/4 (日)

東京都

専門学校東京ビジュアルアーツ

11/13 (日)

神奈川県

昭和音楽大学

参加無料

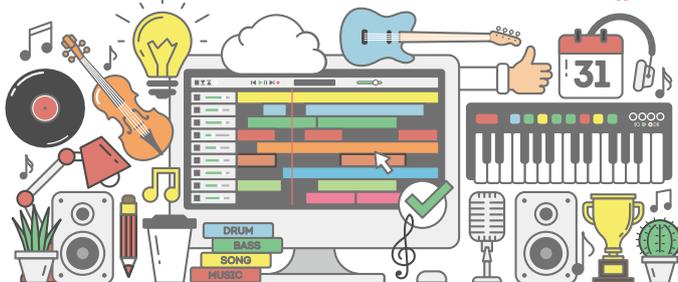
複数の高校を集めた合同演奏会です
演奏後、講師から講評が受けられます
他校の演奏を見聞きし、参考にします
参加校・顧問間の交流を促進します

KEIONGAKUBUSEMINAR

軽音学ぶセミナー

作曲/アレンジ/DTM/レコーディングが学べる

FOR
DJISTART



8/26 (金)

東京都

宝塚大学 東京メディア芸術学部
10:00 ~ 16:00

参加無料

実施要項と申込書
はこちらから



- ①音の成り立ちを視覚的に学べるシンセサイザー初級講座
- ②初めてのオリジナル楽曲制作/アレンジ講座
- ③iPhone/iPadで始めるGarageBand入門講座
- ④パソコンを使ったDTM (Desk Top Music) 初級講座
- ⑤初めてのレコーディング/ミキシング講座

DiGiRECO BAND CLINIC

※実施要項を用意しておりますので、右のQRコードからアクセスしてください。
※開催の相談は顧問の先生を通して行ってください。



あなたの学校の軽音楽部に
軽音協が出向きます!

無料

高等学校の軽音楽部をよく知る講師がアンサンブルのアドバイスをしたり、音響や電気の初歩的な知識やサウンドチェックの仕方など、実施校の要望に応じて開催します。

DIGIRECO.JR

DiGiRECO.JR — デジレコ・ジュニア —

■DIGIRECO.JR VOL.54
■SEP・2022 (第11巻8号通巻54号)
■創刊：平成25年12月18日 (水)
■発行：令和4年8月20日 (土)
■監修・発行 / 特定非営利活動法人 (NPO法人)
全国学校軽音楽部協会
〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-37-6-405
TEL：045-913-0901 FAX：045-913-1900
E-Mail：info@keionkyo.org
■企画・編集 / 株式会社ミュージックネットワーク

中学校・高等学校の部活動を応援する！軽音楽部マガジン

デジレコ・ジュニア
2022年9月号 VOL.54

全国の高等学校軽音楽部に無料配布！

本誌は高等学校軽音楽部以外には配布しておりません。
写真掲載に関しては各高等学校の許可を得ています。

2,039校

本誌に記載されている記事の内容や数字などの全部、または一部を無断で複製、引用することを禁じます。利用の際は当協会までご一報ください。

編集長の言葉 ...4

配布校リスト ...6

お知らせ

軽音協イベント・カレンダー ...2

主催大会動画公開のお知らせ ...5

REPORT

軽音合同演奏会：京都府：舞鶴赤れんがパーク ...10

神奈川県：昭和音楽大学 ...11

軽音学ぶセミナー：静岡県：浜松学芸高等学校 ...12

富山県：富山県立富山工業高等学校 ...14

特集

ギター、ベースの「音作り」の基礎を知ろう！
音楽のための「音学」 ...16

CONTENTS

ロックの解体新書 ...24

ONE OK ROCK / The Beginning

SHISHAMO / ほら、笑ってる

SUPER BEAVER / らしさ

ASIAN KUNG-FU GENERATION / リライト

Official髭男dism / Tell Me Baby

音楽 / エンタメ業界の仕事 2022 ...30

MUSICQuiz ～軽音ミュージッククイズ～⑤ ...35

全国学校軽音楽部協会は
「音楽やバンド活動を通して、
これからの人材を育てる」
の理念のもと高等学校軽音楽部の
活動を応援しています。

現在、全国で軽音楽系の部活動が活発に行われ、多くの生徒が軽音楽を通して様々なことを学んでいます。それは、軽音楽部の「自主性」や「責任感」の伴った活動が学習意欲の向上につながり、「コミュニケーション」「チームワーク」「クリエイティビティー」といった社会で必要とされるスキルを育てることができる部活動だと認知されてきたからだと思います。

私たちは、支援活動を推進するには、公平性と中立性を保ちながら、情報公開を通じて広く一般の方の賛同を得ることができる特定非営利活動法人としての活動が望ましいと考え、本協会を設立しました。これまでも、情報誌の発行、大会や合同演奏会の運営支援、大会プログラムの発行、生徒や顧問への各種クリニックや講習会の開催、軽音楽連盟発足の支援などを行ってきました。今後も不特定、かつ多数の公益に寄与しながら、軽音楽を通して青少年の健全な育成を目指していきます。

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会



keionkyo.org

From Chief-In-Editor

「自分のやりたいこと」より「今の自分にできること」

皆さんは音楽が好きで、楽器に興味を持ち、部活動でバンドを組んだり、楽器の演奏がしたくて軽音楽部に入部した人がほとんどだと思います。春の入部から5ヶ月ほどが過ぎ、それなりに楽器の演奏ができたり、気の合う部員とバンドでの演奏を始めている頃かもしれません。それはさぞかし楽しいことでしょう。が、ここで改めて、編集長ツラをして苦言を呈しておく、楽器だけでなく、バットでも、ラケットでも、竹刀でも、はたまた数学でも英語でも、もちろん日本語でも…何事も一朝一夕にマスターできるものはありません。本能以外の後天的な能力を習得する場合、すべてに時間がかかります。少しできるようになると、気分はすっかり中級者になったつもりになることはよくある話です。「～ができる」と言う際に「一応」と付ける人がいますが、これは照れ半分の典型じゃないでしょうか。ぜひ、皆さんは「バンドで一応、ギターをやっています」と注釈付きの説明をしなくちゃならない段階から脱しましょう。どうせやるなら、どうせ取り組むなら、どうせ時間をかけるなら…物事を極めるところまで突き進みましょう。胸を張って「～をしています」と言えるようになりましょう。

上達や成長の過程で注意しなければならないのは「自分がやりたいこと」と「今の自分にできること」は違うことが少なくないとい

うことです。やりたいことをやれてきているつもりでも、第三者の視点で見ると実はそれほどでもなく、自分ではできているつもりになっているだけ…という錯覚が自らの成長を阻みます。今の自分にできることをしっかりと消化して、経験を積み、一歩ずつ実力を上げていくことは、一見遠回りに思えますが、結局やりたいことができる近道です。そんなことは、高校生の皆さんなら先刻承知のはずですね。まさに、学問に王道なし、上達に近道なし、千里の道も一歩から…ということです。

できることが一段上にならしたら（もしくは上級生の皆さんは）、今できていることが全体の中でどのくらいのレベルなのかを自問してみてください。決して、自己満足で終わったり、井の中の蛙にならないようにしましょう。できるようになればなるほど、実はこれまでできていなかったことに気がつくものです。これをギリシャの哲学者ソクラテスは「無知の知」と呼びました。上には上がいることを知ることで、より高みを目指す目標が生まれます。謙虚さや素直な気持ちにもなれます。部活動は学校教育の一環であると言われる。部活動としての軽音楽部を通して、将来、社会に出てからも一生役に立つスキルを学んでください。

では、また次号で…。



編集長 三谷佳之

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会 理事長
日本部活動学会 (JESECA) 理事
株式会社ミュージックネットワーク 代表取締役
mitani@keionkyo.org
Twitter @yoshiyukimitani



全国学校軽音楽部協会



DIGIRECO.JR VOL.54 電子版



YouTubeチャンネル

三谷佳之 YOSHIYUKI MITANI

小学生で電気に興味を持つ。中学生でフリッツ・ロックに目覚め、将来はイギリスに住む！と妄想。英語が必須と実感。エレキ・ギターを弾きつつ、ジブセワイパーに興味を持ち、楽器よりも電気に傾倒。国立奈良工業高等専門学校/電気工学科に進学。ロックバンドを組むが、長続きせず。在学中に興味の対象が広告宣伝や販売促進、マーケティングに移る。果敢に楽器メーカーに就職後、最新テクノロジーだった通信事業に興味を持ち、9年間の勤務を経て、独立。株式会社ミュージックネットワークを設立。インターネットのない時代から音楽と通信ネットワークの分野で数々の日本初のビジネスを立ち上げる。

2000年の少し前、インターネット業界では当たり前の「コンテンツは無料」というコンセプトを雑誌に応用した「無料雑誌」を思いつき、創刊。2013年、高校の軽音楽部向けの無料雑誌「DIGIRECO.JR」を創刊。2018年、大学の軽音楽サークル向けの無料雑誌「DIGIRECO.SR」を創刊。同年、特定非

営利活動法人「全国学校軽音楽部協会」を設立。

音楽面では約15年前にバンドへの興味が再燃。ハードロック系イベントを主催する。その後、主催するよりも出演する方が楽しそう...というところで方向転換。高専生時代から好きだったヘヴィメタルの元祖「BLACK SABBATH」のトリビュート・バンド「BLOOD SABBATH」を結成。年間12回以上のライブを展開。編集長の立場を利用し、BLACK SABBATHのメンバーに会うなど…やりたい放題の公私混同。2013年5月、直訳ロッカーの王様と日本語でBLACK SABBATHの名曲を演奏したアルバム「黒い安息日伝説」を発売。好調な売れ行きに気を良くして、現在、第2弾を計画中。2015年5月、BLACK SABBATHのギタリストであるトニー・アイオ三のトリビュート・アルバムに参加。世界デビューを果たす。

●会社のホームページで設立以来の活動を紹介しています



●BLOOD SABBATH (www.bloodsabbath.com)





高等学校軽音楽コンテスト 愛知県高等学校軽音楽大会 演奏映像は8月末公開予定！



第4回
高等学校軽音楽コンテスト
近畿北陸大会 **20**バンド

第6回
高等学校軽音楽コンテスト
中部大会 **20**バンド

第11回
愛知県高等学校軽音楽大会
24バンド

第1回
高等学校軽音楽コンテスト
関東大会 **25**バンド
9月末公開

特定非営利活動法人
全国学校軽音楽部協会





配布校募集!

全国の高等学校で、軽音楽部のある2,039校に無料配布しています。

この欄に記載されていない高等学校で本誌を希望される場合は、お手数ですが、当協会までご一報ください。また、誌面に対するご意見・ご要望などがありましたら下記までお寄せください。本誌は広告収入で成り立っており、配布に関する費用は一切、かかりません。

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会 TEL : 045-913-0901 / FAX : 045-913-1900

Table listing schools and their light music clubs across various prefectures including Hokkaido, Tohoku, Kanto, Chubu, Kansai, and Kyushu.

4864	小平市	東京都立小平南高等学校	フォークソング部	4110	横浜市	神奈川県立松陽高等学校	軽音楽部	4232	さいたま市	さいたま市立浦和高等学校	音楽部	5186	香取市	千葉県明高高等学校	シシエサイザークオーケストラ
4865	小平市	白梅学園高等学校	軽音楽部	9488	横浜市	桐蔭学園高等学校	軽音楽部	4231	さいたま市	さいたま市立大宮北高等学校	軽音楽同好会	5187	佐倉市	千葉県立佐倉高等学校	軽音楽部
4200	沼島町	東京都立沼島高等学校	軽音楽部	9453	横浜市	桐蔭学園中学校男子部	軽音楽部	6659	さいたま市	浦和ルーテル学院高等学校	音楽部	5188	佐倉市	千葉県立倉敷高等学校	ギター部
4784	新島村	東京都立新島高等学校	軽音楽部	4142	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	6660	さいたま市	浦和学院高等学校	軽音楽部	5193	山武市	千葉県立東高等学校	フォークソング同好会
4012	清瀬市	東京都立清瀬高等学校	民族音楽部	6831	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4241	さいたま市	浦和明の国女子高等学校	軽音楽部	5198	四街道市	千葉県敬愛高等学校	軽音楽部
7936	西多摩郡	東京都立西多摩高等学校	軽音楽部	4106	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4238	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5199	四街道市	千葉県立街道北高等学校	軽音楽同好会
4936	西東京市	東京都立西武高等学校	軽音楽部	6765	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	6665	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5200	原市	千葉県立原高等学校	音楽部
3992	西東京市	東京都立保谷高等学校	現代音楽部	6846	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4158	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5202	原市	千葉県立保谷高等学校	音楽部
4938	西東京市	東京都立武蔵野女子学院高等学校	軽音楽部	6874	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4161	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5204	原市	千葉県立保谷高等学校	音楽部
4937	西東京市	文華女子高等学校	軽音楽部	4122	横浜市	中央大学附属横浜中学校	高等学校	4166	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5216	川崎市	国府台女子学院高等学校	軽音楽部、ギター部
4003	青梅市	東京都立青梅総合高等学校	軽音楽部	6759	東京都	中央大学附属横浜中学校	高等学校	4165	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5221	川崎市	川崎高等学校	軽音楽部
4939	青梅市	東京都立多摩高等学校	軽音楽部	6762	東京都	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4164	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5218	川崎市	昭和三学院高等学校	軽音楽部
4973	多摩市	東京都立多摩高等学校	軽音楽部	6763	東京都	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4164	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5208	川崎市	千葉県立徳高等学校	音楽部
4972	多摩市	東京都立永山高等学校	軽音楽部	6832	伊勢原市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4160	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5207	川崎市	千葉県立川東高等学校	軽音楽部
4783	大島町	東京都立大島海洋原高等学校	音楽部	4080	伊勢原市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4167	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5211	川崎市	千葉県立川東高等学校	軽音楽部
3991	町田市	桜美林高等学校	軽音楽部	4082	伊勢原市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4168	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5220	川崎市	千葉県高科大付高等学校	軽音楽部
4007	町田市	東京都立元川高等学校	軽音楽部	6768	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4169	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5215	川崎市	白洋学園女子高等学校	軽音楽部
5003	町田市	東京都立元川高等学校	ギター部	6771	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4162	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5219	川崎市	日学国際女子高等学校	軽音楽部
5000	町田市	東京都立元川高等学校	軽音楽同好会	4140	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4155	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5224	蒲志市	光栄 VERITAS 高等学校	軽音楽同好会
5007	町田市	東京都立元川高等学校	軽音楽部	4108	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4156	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5235	松戸市	志志市立高等学校	軽音楽同好会
5006	町田市	東京都立野津田高等学校	軽音楽部	6769	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4157	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5234	松戸市	志志市立高等学校	軽音楽部
5012	町田市	和光高等学校	ロック研究部	6772	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	6724	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5228	松戸市	千葉県立戸国高等学校	軽音楽部
5018	調布市	東京都神代高等学校	アコースティックギター部	6773	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4157	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5230	松戸市	千葉県立戸国高等学校	ロック部
5013	調布市	東京都立調布南高等学校	軽音楽同好会	6800	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	6725	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5229	松戸市	千葉県立戸国高等学校	軽音楽部
5024	調布市	東京都立調布北高等学校	軽音楽部	6883	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4153	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5236	松戸市	修徳大学附属高等学校	フォークソング同好会
4018	東大塚市	東京都立久留米高等学校	ギター部	6888	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4159	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5237	成田市	千葉県立北総高等学校	軽音楽部
5017	東大塚市	東京都立久留米総合高等学校	軽音楽部	6889	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4237	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5238	成田市	千葉県立北総高等学校	軽音楽部
5020	東大塚市	東京都立東大塚高等学校	ライムミュージック部	6801	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4236	さいたま市	浦和聖明高等学校	軽音楽部	5240	成田市	千葉県立北総高等学校	軽音楽部
4028	東大塚市	東京都立東大塚高等学校	軽音楽部	4123	海老名市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4188	ひまわり市	大宮南高等学校	軽音楽部	5239	成田市	千葉県立北総高等学校	軽音楽部
5021	東大塚市	白桜学園高等学校	軽音楽部	4079	海老名市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4206	羽生市	埼玉南高等学校	軽音楽同好会	5247	千葉市	松谷高等学校	軽音楽部
5022	東大塚市	祐聖学院高等学校	軽音楽部	6771	鎌倉市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4240	越谷市	埼玉南高等学校	軽音楽同好会	5270	千葉市	松谷高等学校	軽音楽部
5023	東大塚市	東京都立東大塚高等学校	フォークソング部	6803	鎌倉市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4204	越谷市	埼玉南高等学校	軽音楽同好会	5266	千葉市	昭和三学院高等学校	軽音楽部
5023	東大塚市	東京都立東大塚高等学校	フォークソング部	6804	鎌倉市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4209	越谷市	埼玉南高等学校	軽音楽同好会	5261	千葉市	昭和三学院高等学校	軽音楽部
5025	日野市	東京都立日野高等学校	軽音楽部	6833	鎌倉市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4210	越谷市	埼玉南高等学校	軽音楽同好会	5248	千葉市	千葉経済大学附属高等学校	軽音楽部
5029	日野市	東京都立日野高等学校	軽音楽同好会	6849	鎌倉市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4211	越谷市	埼玉南高等学校	軽音楽同好会	5267	千葉市	千葉県立椚見高等学校	音楽部
5035	八王子市	精明高等学校	軽音楽部	4086	鎌倉市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4208	越谷市	埼玉南高等学校	軽音楽同好会	5256	千葉市	千葉県立北総高等学校	音楽部
5040	八王子市	共立女子第二高等学校	サウンドソサエティ部	6862	鎌倉市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4259	越谷市	埼玉南高等学校	軽音楽同好会	5253	千葉市	千葉県立平井工業高等学校	ギター同好会
3982	八王子市	工学院大学附属高等学校	軽音楽部	6807	茅ヶ崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4177	川崎市	埼玉南高等学校	軽音楽同好会	5257	千葉市	千葉県立平井工業高等学校	ギター同好会
4047	八王子市	聖パウロ学園高等学校	軽音楽部	4120	茅ヶ崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4258	加須市	花咲徳栄高等学校	ギター部	5259	千葉市	千葉県立平井工業高等学校	フォークソング部
5041	八王子市	東京工業高等専門学校	軽音楽部	4121	茅ヶ崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4204	加須市	埼玉南高等学校	軽音楽同好会	5245	千葉市	千葉県立平井工業高等学校	フォークソング同好会
9504	八王子市	東京都立八王子高等学校	軽音楽部	6893	茅ヶ崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4217	吉川市	埼玉南高等学校	軽音楽部	5258	千葉市	千葉県立平井工業高等学校	音楽同好会
5042	八王子市	東京都立八王子高等学校	軽音楽部	6821	厚木市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4220	久喜市	埼玉南高等学校	軽音楽部	5251	千葉市	千葉県立平井工業高等学校	音楽同好会
5029	八王子市	東京都立八王子高等学校	軽音楽部	6819	厚木市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4221	久喜市	埼玉南高等学校	軽音楽部	5272	千葉市	千葉県立平井工業高等学校	ギター部
4027	八王子市	東京都立八王子高等学校	軽音楽部	6820	厚木市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4191	松戸市	埼玉南高等学校	軽音楽部	5268	千葉市	千葉県立平井工業高等学校	フォークソング同好会
5032	八王子市	東京都立八王子高等学校	軽音楽部	4077	厚木市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4191	松戸市	埼玉南高等学校	軽音楽部	5246	千葉市	千葉県立平井工業高等学校	フォークソング同好会
4066	八王子市	八王子学園八王子高等学校	ギター部	4078	厚木市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4249	茨城県	秋声学園高等学校	ロック部	5262	千葉市	千葉聖心高等学校	軽音楽部
5064	府中市	東京都立農業高等学校	サウンド部	6822	厚木市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4250	茨城県	武志学園文理高等学校	フォークソング部	5263	千葉市	千葉県明成高等学校	軽音楽部
4031	府中市	東京都立府中工業高等学校	軽音楽部	6808	厚木市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4198	熊谷市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5280	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	軽音楽部
5062	府中市	東京都立府中高等学校	サウンド部	6827	厚木市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4198	熊谷市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5273	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	アコースティックギター部
3986	府中市	東京都立府中西高等学校	軽音楽部	4105	厚木市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4200	熊谷市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5274	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
5063	府中市	東京都立府中東高等学校	軽音楽部	4100	厚木市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4175	戸田市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5281	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
3987	府中市	明進高等学校	軽音楽部	6928	三浦市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4179	浦安市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5275	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
5066	武蔵野市	東京都立武蔵野高等学校	フォークソング同好会	6809	三浦市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4180	浦安市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5282	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
5068	武蔵野市	東京都立武蔵野高等学校	フォークソング部	6760	小田原市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	6885	坂戸市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5283	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
5070	武蔵野市	聖隷学園高等学校	軽音楽部	6837	小田原市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4248	坂戸市	山手国際高等学校	軽音楽部	5285	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
4035	武蔵野市	東京都立武蔵野高等学校	軽音楽部	4087	小田原市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4242	坂戸市	山手国際高等学校	軽音楽部	5283	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
5072	武蔵野市	藤村女子高等学校	軽音楽同好会	4114	小田原市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4215	坂戸市	山手国際高等学校	軽音楽部	5285	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
4032	福生市	東京都立多摩工業高等学校	軽音楽部	6880	小田原市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	6683	志木市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5296	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
4026	福生市	東京都立福生高等学校	ロック部	6855	小田原市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4218	春日部市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5933	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
5045	川崎市	昭和第一学園高等学校	軽音楽部	4131	茅ヶ崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	6695	春日部市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5311	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
5141	川崎市	東京都立砂川高等学校	軽音楽部	6856	茅ヶ崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4219	春日部市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5308	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
4022	川崎市	東京都立立川高等学校	軽音楽部	6857	茅ヶ崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4260	春日部市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5306	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
5142	川崎市	立川女子高等学校	軽音楽部	6858	茅ヶ崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4190	所沢市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5303	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6780	横浜市	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	軽音楽部	4113	蓮田市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4183	新座市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5312	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6781	横浜市	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	軽音楽部	6766	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4244	新座市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5309	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6813	横浜市	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	軽音楽部	6814	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4245	新座市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5316	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6890	横浜市	神奈川県立鶴見高等学校	軽音楽部	6823	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	9482	新座市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5317	船橋市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6891	横浜市	神奈川県立鶴見高等学校	軽音楽部	6834	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4201	深谷市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5321	八千代市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6865	横浜市	神奈川県立鶴見高等学校	軽音楽部	6847	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4202	深谷市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5318	八千代市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6900	横浜市	聖ヨゼフ学園中学校	高等学校	4112	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4203	深谷市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5319	八千代市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6911	横浜市	白鵬女子高等学校	軽音楽部	6863	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4257	深谷市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5320	八千代市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6911	横浜市	法政大学女子高等学校	軽音楽部	4080	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4185	川崎市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5272	成田市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
4149	横浜市	横浜創英中学校	高等学校	6869	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4184	川崎市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5328	成田市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6850	横浜市	神奈川県立横浜高等学校	軽音楽部	4092	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4186	川崎市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5329	成田市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
4148	横浜市	神奈川県立横浜高等学校	軽音楽部	4093	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	6715	川崎市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5330	成田市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6844	横浜市	神奈川県立横浜高等学校	軽音楽部	4119	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4187	川崎市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5335	木更津市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6851	横浜市	神奈川県立横浜高等学校	軽音楽部	4117	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4247	川崎市	山手国際高等学校	軽音楽部	5331	木更津市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6851	横浜市	神奈川県立横浜高等学校	軽音楽部	4144	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4246	川崎市	山手国際高等学校	軽音楽部	5336	木更津市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6876	横浜市	神奈川県立横浜高等学校	軽音楽部	6913	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4235	川崎市	山手国際高等学校	軽音楽部	5336	木更津市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6158	横浜市	神奈川県立横浜高等学校	軽音楽部	6914	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4172	川口市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	9532	木更津市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
4767	横浜市	フェリス学院中学校	高等学校	6870	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4170	川口市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5333	木更津市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6799	横浜市	横浜市立みなと総合高等学校	軽音楽部	4084	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4173	川口市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5340	野田市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6799	横浜市	横浜市立みなと総合高等学校	軽音楽部	6871	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4171	川口市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5337	野田市	千葉県立船橋北高等学校	フォークソング同好会
6797	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6872	川崎市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部	4212	草加市	埼玉南高等学校	フォークソング同好会	5			

8055	堺市	大阪商業大学堺高等学校 軽音楽部	5848	神戸市	兵庫県立神戸北高等学校 軽音楽部	9271	広島市	クラーク記念国際高等学校 広島キャンパス 軽音部	6111	福岡市	福岡県立福岡講道館高等学校 軽音楽同好会
7966	堺市	大阪府立堺工科高等学校 軽音楽部	5847	神戸市	兵庫県立神戸鈴鹿友が丘高等学校 キター同好会	8367	広島市	広島県立安芸市高等学校 軽音楽部	6100	福岡市	福岡市立多工高等学校 軽音楽部
4283	堺市	大阪府立堺立高等学校 軽音楽部	5792	神戸市	兵庫県立須賀友が丘高等学校 キター同好会	8375	広島市	広島県立可部高等学校 軽音楽部	6104	福岡市	福岡市立可部高等学校 軽音楽部
7967	堺市	大阪府立堺西高等学校 軽音楽部	5829	神戸市	兵庫県立東通高等学校 軽音楽部	8380	広島市	広島県立祇園高等学校 軽音楽部	6129	福岡市	福岡市立祇園高等学校 キター部
7968	堺市	大阪府立堺東高等学校 軽音楽部	5799	神戸市	兵庫県立舞子高等学校 軽音楽部	8388	広島市	広島県立立石市高等学校 軽音楽部	6130	福岡市	福岡女子学院高等学校 軽音楽同好会
7991	堺市	大阪府立東高等学校 軽音楽部	5841	神戸市	兵庫県立生石工業高等学校 軽音楽部	8402	広島市	広島県立立石新築高等学校 軽音楽部	9448	福岡市	北苑芸術高等学校 福岡分校 フォークン(仮) 軽音楽部
8020	堺市	大阪府立西高等学校 軽音楽部	5818	神戸市	兵庫県立立西高等学校 キターアンサンブル部	8404	広島市	広島県立立西高等学校 軽音楽同好会	6122	福岡市	福岡県立立西高等学校 軽音楽部
8081	堺市	大阪府立豊美丘高等学校 フォークン部	5819	神戸市	兵庫県立豊美台高等学校 キター部	8406	広島市	広島県立立西工業高等学校 軽音楽部	6141	福岡市	福岡県立立西工業高等学校 軽音楽同好会
8089	堺市	大阪府立東百舌鳥高等学校 軽音楽部	5852	神戸市	神戸市立高等学校 キター同好会	8409	広島市	広島県立立西園寺高等学校 軽音楽部	6173	福岡市	仰光学園高等学校 軽音楽部
8097	堺市	大阪府立豊美高等学校 音楽部	5869	高宮市	神戸女子学院高等学校 軽音楽部	8421	広島市	広島県立立西高等学校 キター部	6175	福岡市	九州国際大学付属高等学校 軽音楽部
8105	堺市	大阪府立美原高等学校 軽音楽部	5862	高宮市	仁川学院高等学校 軽音楽部	8429	広島市	広島県立立西高等学校 キター部	6150	福岡市	高橋高等学校 軽音楽部
8111	堺市	大阪府立福原高等学校 軽音楽部	5856	高宮市	西宮市立西宮東高等学校 軽音楽部	8430	広島市	広島県立立西高等学校 キター部	6171	福岡市	自由ヶ丘高等学校 軽音楽同好会
8115	堺市	大阪府立鳳高等学校 フォークン部	5858	高宮市	兵庫県立西宮甲山高等学校 軽音楽部	8413	広島市	広島市立基町高等学校 フォークン部	6155	福岡市	常盤高等学校 軽音楽部
4270	堺市	東大高等学校 軽音楽部	5854	高宮市	兵庫県立鳴尾高等学校 軽音楽部	8416	広島市	広島市立舟入高等学校 軽音楽部	6162	福岡市	真庭高等学校 軽音楽部
4301	堺市	大阪府立泉陽高等学校 PMC	5872	高宮市	兵庫県立西宮高等学校 キター部	6016	広島市	広島大学附属高等学校 軽音楽部	6160	福岡市	東筑紫高等学校 キター部
4300	堺市	初志生命館高等学校 新音楽部	5878	高宮市	兵庫県立川西高等学校 軽音楽部	8428	広島市	広島学術部 広島高等学校 フォークン部	6159	福岡市	東筑紫高等学校 キター部
4265	堺市	大阪府立立川高等学校 軽音楽部	5881	高宮市	兵庫県立福名高等学校 軽音楽同好会	8437	広島市	広島高等学校 軽音楽部	6153	福岡市	福岡県立小倉東高等学校 音楽部
8092	三島郡	大阪府立三島高等学校 軽音楽部	5882	高宮市	兵庫県立相生産業高等学校 軽音楽部	9440	広島市	修道中学校、修道高等学校 音楽班	6168	福岡市	福岡県立小倉東高等学校 キター部
7976	四條郡	大阪府立立峰高等学校 軽音楽部	5884	高宮市	兵庫県立多可高等学校 軽音楽同好会	9448	広島市	進徳女子高等学校 軽音楽部	6174	福岡市	福岡県立立峰高等学校 フォークン同好会
4294	守口市	大阪府立守口市高等学校 軽音楽部	5887	高宮市	兵庫県立立峰高等学校 キター部	8449	広島市	津道中学校、高等学校 軽音楽部	6165	福岡市	福岡県立立峰高等学校 軽音楽部
4271	守口市	大阪府立守口市高等学校 軽音楽部	5888	高宮市	兵庫県立立峰高等学校 キター部	8471	広島市	比治女子中学校、高等学校 フォークン部	6166	福岡市	福岡県立立峰高等学校 キター部
7921	守口市	大阪府立守口市高等学校 軽音楽部	5882	高宮市	生野学園高等学校 (バンド)	8457	広島市	広島県立立峰高等学校 音楽部	6178	福岡市	豊国高等学校 軽音楽部
4297	守口市	大阪府立守口市高等学校 軽音楽部	5738	高宮市	兵庫県立立峰高等学校 音楽部	8470	三原市	如水館高等学校 軽音楽部	6147	福岡市	明治学園高等学校 器楽部
7927	松原市	阪南大学高等学校 軽音楽部	5904	高宮市	園田学園高等学校 フォークン部	8435	三次市	広島県立三次高等学校 音楽部	6183	福岡市	杉森高等学校 軽音楽部
7487	松原市	大阪府立松原高等学校 軽音楽部	5895	高宮市	尼崎市立尼崎双星高等学校 アコースティックギター部	8373	山形県	広島県立立計高等学校 軽音楽部	8226	長崎県	活水高等学校 軽音楽同好会
8006	松原市	大阪府立生野高等学校 軽音楽部	5905	高宮市	百合学園高等学校 フォークン部	8374	山形県	広島県立立計高等学校 芸花分校 (バンド)同好会	8844	長崎県	純心中学校、純心女子高等学校 軽音楽同好会
8067	松原市	大阪府立大生高等学校 軽音楽部	5901	高宮市	兵庫県立神崎工業高等学校 軽音楽部	8455	山形県	広島県立立計高等学校 軽音楽部	8866	長崎県	長崎五成高等学校 軽音楽部
8059	豊川市	豊里フェリス学院中学校、高等学校 軽音楽部	5897	高宮市	兵庫県立立計高等学校 軽音楽部	8423	山形県	広島県立立計高等学校 音楽部	8867	長崎県	長崎立計高等学校 キター部
8009	豊川市	大阪府立西宮高等学校 フォークン部	5899	高宮市	兵庫県立立計高等学校 軽音楽部	8482	山形県	広島県立立計高等学校 軽音楽部	9053	熊本県	創成女子高等学校 音楽部
9116	豊川市	大阪府立かわち町高等学校 軽音楽部	5904	高宮市	兵庫県立立計高等学校 軽音楽部	8376	東広島市	広島県立立計高等学校 軽音楽部	8909	菊池市	菊池女子高等学校 軽音楽同好会
8024	豊川市	阿蘇社会福祉専門学校 軽音楽部	5908	高宮市	兵庫県立立計高等学校 軽音楽部	9488	東広島市	広島県立立計高等学校 軽音楽部	8914	玉名市	熊本県立玉名工業高等学校 軽音楽同好会
8095	吹田市	大阪府立吹田高等学校 軽音楽部	5927	高宮市	兵庫県立立計高等学校 フォークン同好会	8489	東広島市	広島県立立計高等学校 軽音楽部	8915	玉名市	熊本県立玉名高等学校 キター部
7973	吹田市	大阪府立立田高等学校 軽音楽部	5924	高宮市	清心学院高等学校 軽音楽部	8382	廿日市市	広島県立立計高等学校 軽音楽部	8902	熊本県	ルーテル学院中、高等学校 軽音楽部
7928	吹田市	大阪府立吹田高等学校 軽音楽部	5922	高宮市	東洋大学附属姫路高等学校 コーラス部	8432	廿日市市	広島県立立計高等学校 音楽部	8907	熊本県	熊本県立立計高等学校 軽音楽部
7997	吹田市	大阪府立吹田東高等学校 軽音楽部	5918	高宮市	姫路市立琴丘高等学校 フォークン部	8467	廿日市市	広島県立立計高等学校 キター部	8902	熊本県	熊本県立立計高等学校 フォークン同好会
8014	吹田市	大阪府立吹田高等学校 フォークン部	5931	高宮市	姫路市立立峰高等学校 フォークン部	8468	廿日市市	広島県立立計高等学校 軽音楽同好会	8921	熊本県	熊本県立立計高等学校 キター部
8118	吹田市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	5917	高宮市	姫路市立姫路高等学校 フォークン部	8438	廿日市市	山崎学園中、高等学校 軽音楽部	8925	熊本県	熊本県立立計高等学校 キター部
8000	摂津市	星野高等学校 音楽部	5930	高宮市	兵庫県立立計高等学校 キター部	9270	尾道市	広島県立立計高等学校 軽音楽部	8937	熊本県	熊本県立立計高等学校 軽音楽同好会
8033	摂津市	大阪商業大学附属高等学校 軽音楽部	5912	高宮市	兵庫県立立計高等学校 軽音楽部	8475	尾道市	尾道中学校、高等学校 軽音楽部	8936	熊本県	熊本県立立計高等学校 音楽部
8013	摂津市	大阪府立立計高等学校 フォークン部	5932	高宮市	兵庫県立立計高等学校 軽音楽部	8473	尾道市	尾道中学校、高等学校 MUSIC 同好会	8922	熊本県	熊本中央高等学校 軽音楽部
4268	泉佐野市	大阪府立佐野工高等学校 K 音部	5911	姫路市	兵庫県立立計高等学校 フォークン部	9534	那珂市	広島県立立計高等学校 軽音楽同好会	8928	熊本県	熊本中央高等学校 軽音楽部
7984	泉佐野市	大阪府立佐野高等学校 軽音楽部	5921	姫路市	兵庫県立立計高等学校 軽音楽部	8445	那珂市	広島県立立計高等学校 フォークン部	8931	熊本県	熊本中央高等学校 軽音楽部
8014	泉大津市	大阪府立泉大津高等学校 器楽部	5907	玉塚市	兵庫県立立計高等学校 軽音楽部	9476	那珂市	広島県立立計高等学校 フォークン部	8943	熊本県	熊本中央高等学校 軽音楽同好会
4267	泉南郡	大阪府立泉南高等学校 軽音楽部	5949	明石市	兵庫県立立計高等学校 軽音楽部	8387	福山市	広島県立立計高等学校 軽音楽部	8933	上益田市	熊本県立立計高等学校 音楽部
8129	泉南郡	大阪府立泉南高等学校 軽音楽部	9517	明石市	明石工業高等専門学校 音楽部	8443	福山市	広島県立立計高等学校 音楽部	8965	八代市	熊本県立立計高等学校 音楽部
7917	泉南郡	大阪府立泉南高等学校 軽音楽部	5965	姫路市	聖心学園中教育学校 軽音楽部	8447	福山市	広島県立立計高等学校 音楽部	8940	八代市	秀島高等学校 軽音楽部
7942	大阪府	大阪府立狭山高等学校 軽音楽部	5963	姫路市	奈良県立狭山高等学校 Sound Art Society	8479	福山市	広島県立立計高等学校 アコースティックギター部	9000	大分県	大分県立情報科学高等学校 音楽部
7977	大東市	四條学園高等学校 器楽部	5962	姫路市	奈良県立狭山高等学校 フォークン部	8424	福山市	広島大学附属中学校、高等学校 軽音楽部	9004	大分県	大分国際情報高等学校 音楽研究同好会
8134	大東市	大阪府立野間高等学校 フォークン部	5968	吉野郡	奈良県立立計高等学校 軽音楽部	8458	豊田郡	広島県立立計高等学校 音楽部	9017	竹田市	竹田学園高等学校 音楽同好会
8139	大東市	福岡冠高等学校 軽音楽部	5967	吉野郡	奈良県立立計高等学校 軽音楽部	8520	宇都宮市	鹿進中学校、高等学校 軽音楽同好会	9040	別府市	明豊中、高等学校 軽音楽部
7982	池田市	渋谷高等学校 アコースティック音楽同好会	5969	五條市	奈良県立立計高等学校 軽音楽部	8494	宇都宮市	山口県立立計高等学校 器楽部	9087	えびの市	日野学園九州国際高等学校 軽音楽部
7926	池田市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	5973	那珂市	奈良県立立計高等学校 音楽部	8498	宇都宮市	山口県立立計高等学校 軽音楽同好会	9072	延岡市	延岡学園高等学校 軽音楽部
8068	池田市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	5979	那珂市	西沢中央高等学校 軽音楽部	9500	下関市	下関国際高等学校 軽音楽部	9450	延岡市	延岡国際高等学校 軽音楽同好会
7988	東大阪市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	5977	井井町	奈良県立立計高等学校 キター部	8558	下関市	下関国際高等学校 軽音楽部	9079	延岡市	延岡国際高等学校 軽音楽同好会
7945	東大阪市	近畿大学附属高等学校 軽音楽部	5987	大和郡	奈良県立立計高等学校 軽音楽部	8559	下関市	山口県立立計高等学校 キター部	9051	延岡市	延岡国際高等学校 軽音楽同好会
8015	東大阪市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	5985	大和郡	奈良県立立計高等学校 軽音楽部	8529	下関市	山口県立立計高等学校 キター部	9073	延岡市	延岡国際高等学校 軽音楽同好会
7916	東大阪市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	9497	大和郡	奈良工業高等専門学校 軽音楽部	8491	小川町	サビエル高等学校 軽音楽部	9052	宮崎市	宮崎県立立計高等学校 軽音楽部
7928	東大阪市	大阪府立立計高等学校 フォークン部	5994	天理市	天理高等学校 第一部 フォークン同好会	9502	南州市	鹿児島県立立計高等学校 軽音楽部	9096	宮崎市	宮崎県立立計高等学校 軽音楽部
7991	東大阪市	大阪府立立計高等学校 総合音楽部	5991	天理市	奈良県立立計高等学校 音楽部	8552	南州市	山口県立立計高等学校 軽音楽部	9079	都城市	福岡県立立計高等学校 軽音楽部
8107	東大阪市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	6005	奈良市	育英高等学校 音楽部	8559	奈良市	秋光学院高等学校 軽音楽部	9078	都城市	都城聖三堂高等学校 音楽部
8108	東大阪市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	6007	奈良市	東大寺学園高等学校 音楽部	8538	美咲市	成進高等学校 軽音楽同好会	9084	日向市	高崎県立立計高等学校 軽音楽部
8109	東大阪市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	6008	奈良市	奈良英育高等学校 軽音楽部	8579	徳島県	普徳高等学校 音楽部	9081	北津市	都城東高等学校 軽音楽部
5737	東大阪市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	6002	奈良市	奈良県立立計高等学校 軽音楽同好会	8829	徳島県	徳島県立立計高等学校 軽音楽部	9117	北津市	鹿児島県立立計高等学校 軽音楽同好会
8086	東大阪市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	6010	奈良市	奈良県立立計高等学校 軽音楽部	8587	徳島県	徳島県立立計高等学校 軽音楽部	9177	阿久根市	鹿児島県立立計高等学校 軽音楽部
4280	東大阪市	大阪女子短期大学高等学校 軽音楽部	6000	奈良市	奈良県立立計高等学校 軽音楽部	8600	徳島県	徳島県立立計高等学校 軽音楽同好会	9123	始良市	鹿児島県立立計高等学校 軽音楽部
8087	藤井市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	5986	奈良市	奈良女子大学附属中教育学校 軽音楽部	9016	徳島県	徳島県立立計高等学校 軽音楽部	9188	藤井市	鹿児島県立立計高等学校 軽音楽部
8092	藤井市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	6001	奈良市	奈良女子大学附属中教育学校 軽音楽部	8515	徳島県	鹿児島県立立計高等学校 キター同好会	9168	藤井市	鹿児島県立立計高等学校 軽音楽部
8026	南河内郡	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8162	伊都郡	高野山高等学校 軽音楽部、ダンス部	8622	九尾市	香川県立立計高等学校 軽音楽部	9134	藤井市	鹿児島県立立計高等学校 軽音楽部
7938	南河内郡	関西福祉科学大学高等学校 キター部	8148	伊都郡	和歌山県立立計高等学校 キター部	8618	九尾市	香川県立立計高等学校 軽音楽同好会	9133	藤井市	鹿児島県立立計高等学校 軽音楽部
8088	柏原市	大阪府立立計高等学校 キター部	8160	海津郡	慶福高等学校 軽音楽部	8626	高松市	香川県立立計高等学校 軽音楽部	9143	鹿児島市	鹿児島県立立計高等学校 軽音楽部
7974	八尾市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8144	海津郡	和歌山県立立計高等学校 軽音楽部	8630	高松市	香川県立立計高等学校 軽音楽同好会	9147	鹿児島市	鹿児島県立立計高等学校 軽音楽部
8102	八尾市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8166	海南市	和歌山県立立計高等学校 軽音楽部	8634	高松市	香川県立立計高等学校 軽音楽部	9190	出水市	鹿児島県立立計高等学校 軽音楽部
8103	八尾市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8143	海南市	和歌山県立立計高等学校 軽音楽部	9520	高松市	香川県立立計高等学校 軽音楽部	9158	出水市	鹿児島県立立計高等学校 軽音楽部
8104	八尾市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8178	紀の川市	和歌山県立立計高等学校 軽音楽部	8631	高松市	香川県立立計高等学校 フォークン部	9153	西置市	鹿児島県立立計高等学校 軽音楽部
7911	富田林市	PL 学園高等学校 軽音楽部	8176	那賀市	和歌山県立立計高等学校 キター部	9521	三豊市	香川県立立計高等学校 軽音楽部	9146	日置市	鹿児島県立立計高等学校 軽音楽部
7927	富田林市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8176	那賀市	和歌山県立立計高等学校 フォークン部	8645	小豆郡	香川県立立計高等学校 キター部	9149	霧島市	鹿児島県立立計高等学校 軽音楽部
4288	富田林市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8173	田辺市	和歌山県立立計高等学校 (バンド)	8646	香川県	尽誠学園高等学校 軽音楽同好会	9082	鹿児島市	鹿児島県立立計高等学校 軽音楽部
8106	富田林市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8175	田辺市	和歌山県立立計高等学校 軽音楽部	9213	香川県	和歌山県立立計高等学校 軽音楽部	9213	うるま市	沖縄県立立計高等学校 軽音楽部
7970	豊中市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8169	田辺市	和歌山県立立計高等学校 軽音楽部	8698	松山県	徳島県立立計高等学校 キター部	9214	うるま市	沖縄県立立計高等学校 軽音楽部
4295	豊中市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8167	田辺市	和歌山県立立計高等学校 軽音楽部	8695	松山県	松山県立立計高等学校 軽音楽部	9225	うるま市	沖縄県立立計高等学校 軽音楽部
8113	豊中市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8182	和歌山市	和歌山県立立計高等学校 軽音楽部	8703	松山県	聖カタリナ学園高等学校 軽音楽同好会	9228	うるま市	沖縄県立立計高等学校 軽音楽部
8114	豊中市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8183	和歌山市	和歌山県立立計高等学校 総合音楽部	8703	松山県	聖カタリナ学園高等学校 軽音楽同好会	9258	うるま市	沖縄県立立計高等学校 軽音楽部
8098	豊中市	梅花高等学校 フォークン部	8188	和歌山市	和歌山県立立計高等学校 軽音楽部	8711	安芸市	高知県立立計高等学校 キター部	9197	浦添市	沖縄県立立計高等学校 軽音楽部
8096	豊中市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8184	和歌山市	和歌山県立立計高等学校 軽音楽部	8731	吾川市	高知県立立計高等学校 軽音楽部	9196	浦添市	沖縄県立立計高等学校 軽音楽部
4293	方南市	常盤高等学校 軽音楽部	8186	和歌山市	和歌山県立立計高等学校 軽音楽部	8745	吾川市	高知県立立計高等学校 軽音楽部	9230	浦添市	沖縄県立立計高等学校 軽音楽部
8038	方南市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8186	和歌山市	和歌山県立立計高等学校 軽音楽部	8733	高知市	高知県立立計高等学校 軽音楽部	9259	浦添市	沖縄県立立計高等学校 軽音楽部
7957	方南市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8194	鳥取市	青柳開成中学校 軽音楽部	8737	高知市	高知県立立計高等学校 フォークン部	9220	浦添市	昭和三十九年創立高等学校 軽音楽部
8070	方南市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	9518	米子市	米子工業高等学校 軽音楽同好会	8738	高知市	高知県立立計高等学校 軽音楽部	9194	浦添市	浦添市立立計高等学校 軽音楽部
8121	方南市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8266	益田市	明誠高等学校 軽音楽部	8741	高知市	高知県立立計高等学校 キター部	9211	浦添市	浦添市立立計高等学校 軽音楽部
8123	方南市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8233	津江市	石見智恵高等学校 軽音楽部	8740	高知市	高知県立立計高等学校 フォークン部	9244	浦添市	浦添市立立計高等学校 軽音楽部
9008	真面目市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8230	津江市	石見智恵高等学校 軽音楽部	8758	高知市	高知県立立計高等学校 軽音楽部	9222	浦添市	浦添市立立計高等学校 軽音楽部
8126	真面目市	真面目高等学校 軽音楽部	8232	足尾郡	高知県立立計高等学校 軽音楽部	8739	高知市	高知県立立計高等学校 軽音楽同好会	9189	宜野湾市	沖縄県立立計高等学校 軽音楽部
8128	真面目市	真面目高等学校 軽音楽部	8241	出雲市	出雲高等学校 軽音楽同好会	8742	高知市	高知県立立計高等学校 軽音楽部	9206	宜野湾市	沖縄県立立計高等学校 軽音楽部
8121	真面目市	大阪府立立計高等学校 ロック部	8247	松江市	松江高等学校 軽音楽同好会	8743	高知市	高知県立立計高等学校 軽音楽同好会	9227	宜野湾市	沖縄県立立計高等学校 軽音楽部
7933	真面目市	大阪府立立計高等学校 軽音楽部	8252	松江市	松徳学院中学校高等学校 ロック(バンド)	8747	高知市	高知県立			

第27回 軽音合同演奏会

2022年7月10日 舞鶴赤れんがパーク



▲演奏会は市役所横の舞鶴赤れんがパークの2号棟にて開催



▲大江・綾部・舞鶴高専の3校/約60名が参加しました

舞鶴市で開催している「高等学校軽音楽コンテスト近畿北陸大会」も今年で4年目となりました。そんな中、「年に一度の大会の開催だけでなく、京都北部の高校軽音楽部シーンを盛り上げよう！」ということで、初めて「軽音合同演奏会」を舞鶴市で開催。まいづる Music Showcase の共催のもと、京都府立大江高等学校、京都府立綾部高等学校、舞鶴工業高等専門学校の3校/約60名が参加しました。

当協会の軽音合同演奏会は3つの目的で開催しています。1つ目は、日頃の練習の成果を存分に発揮し、明日からの活動に活かして欲しいこと。2つ目は、各バンドの演奏後に伝えられる音楽大学講師の講評を聞き、たくさんのことを吸収して、この機会を活用して欲しいこと。3つ目は、他校のバンドがどんな楽曲を演奏し、講師からどういった講評を受けるのかを聞き、今後の参考にして欲しいということです。また、この合同演奏会を通じて、参加校同士で交流を深め、切磋琢磨して欲しいとも考えています。

開会式にて、当協会の三谷理事長が合同演奏会の趣旨を説明し、舞鶴市の多々見市長からも歓迎の挨拶をいただくと、早速、1バンド目の演奏からスタート。当日は講師として、大阪音楽大学より濱崎州平先生にお越しいただきました。演奏後の講評では「まだまだ自分の楽器を演奏するのに精いっぱいというのが伝わってくる演奏で

した。目線が手元に落ち、バンド内で完結してしまっている感じがします。では、どうすれば良いかという、まずはしっかりと前を向き、目線は少し先の方を見るようにしましょう。また、サビに向かってダイナミクスを付けたり、キメの部分でアイコンタクトが取れると、よりまとまったアンサンブルになるので、挑戦してみてください」「全体的にうまくコピーができており、良い演奏でした。もっと良くするには、例えば、スネアのオープン・リムショットの精度を上げたり、ルートを弾くベースは最後の音までキッチリと弾いてから移行する。ギターは手のひらのミュートをしっかりと行うなど、細部に注意しましょう」「歌詞に込められた思いや情景などを浮かべながら歌っている様子が伝わる演奏でした。ですが、ボーカル以外のメンバーはどうでしょうか。歌詞を読んだことはありますか。思いを共有してこそそのアンサンブルなので、メンバー間で確認しましょう」といった具体的なアドバイスを各バンドに伝え、参加者はメモを取ったり、濱崎先生の問いかけに答えました。

各校の演奏が終わると、休憩を挟んで「部活動としての軽音楽部」や「音と電気と音響の基礎知識」「大会入賞バンドの映像鑑賞」など、プロジェクターとスクリーンを使用した講座を実施。部活動の基本を見直したり、大会入賞バンドの演奏を鑑賞し、これからのモチベーションの向上につなげました。

【参加校】 京都府立大江高等学校 / 京都府立綾部高等学校 / 舞鶴工業高等専門学校



▲緊張しながらも、各校の代表バンドが1曲ずつ演奏を披露



▲演奏後は濱崎先生から講評があり、今後の参考にしました



▲会の後半はプロジェクターを使用した座学を実施しました

第28回 軽音合同演奏会

2022年7月16日 昭和音楽大学



期末試験も終わり、いよいよ夏休みに突入！という7月16日（土）、神奈川県をはじめ、首都圏の高校軽音楽部を対象にした「軽音合同演奏会」を神奈川県川崎市にキャンパスを構える昭和音楽大学で開催。午前と午後の2部制で実施し、神奈川県や東京都、千葉県より9校／15バンドが参加しました。

この軽音合同演奏会ですが、当協会では「軽音楽部の練習試合」という位置づけで開催しています。演奏者はもちろんのこと、「他山の石」として、観覧者にも演奏する楽しさや活動していく上での刺激を得てもらいたいと考えており、3つの目的を掲げています。1つ目は「高校の音楽系部活動に所属する生徒に発表の場を与え、他校の演奏を観覧する機会を提供すること」。2つ目は「演奏後に音楽大学／音楽専門学校の講師による講評を受けることで、今後の練習の参考にすること」。3つ目は「合同演奏会を通じて、参加校の生徒や顧問間の交流を図り、切磋琢磨する心を養うこと」です。開会式では、当協会の三谷理事長が挨拶を述べ、軽音合同演奏会の目的を紹介しました。

開会式が終わると、1バンド目の演奏からスタート。講師は昭和音楽大学の益田トツシュ先生と白船睦洋先生、池田雅明先生、そして、当協会の辻伸介副理事長です。講評では「正しい方向で上達しています。このまま発表の数をこなしていけば、より良い演奏になります」「アドバイスをすると、全体的にキーが高いと思います。原曲のままだと、ボーカルさんが歌うサビが裏声になってしまうの

で、カラオケのキー・チェンジをする感覚で、キーを変える（移調する）と歌いやすくなります」「少し高度な話になりますが、みんな上手に演奏していますが、体がフラついてしまっています。全員でリズムを取り、特にドラムのスネア・ドラムを叩くところ…2拍目と4拍目でノれるようになると、さらにグルーブが出て、アンサンブルにまとまりが生まれるので、意識してみましょう」といった講評が伝えられ、参加者は真剣に耳を傾けていました。

また、別のバンドには「基本的な音作りは、よくできています。ただ、もう少し研究すれば、さらに良くなると思います。それは、音域を意識した音作りをすることです。例えば、2本のギターがまったく同じ音を出すと、偏りができて音が痩せてしまい、アンサンブルの中で聴こえにくくなってしまいます。そこで、『私はシャリ〜ン！という感じの音作りをするね』とか『私は丸みのある、温かいサウンドを担当するね』という風にバンド内でディスカッションをしましょう。楽器の音の個性も加味しながら演奏ができると、一人ひとりの音が聴こえて、かき消されることもなくなるので、ぜひ楽器の持つサウンドも意識してみてください」というアドバイスが伝えられ、各バンドが今後の参考にしました。

【参加校】神奈川県立鶴嶺高等学校／神奈川県立上鶴間高等学校／神奈川県立川崎高等学校／神奈川県立藤沢総合高等学校／柏木学園高等学校／サレジオ学院高等学校／東京都立文京高等学校／明星高等学校／茂原北陵高等学校



▲今回は昭和音楽大学のスタジオ・プリオで開催しました



▲緊張しながらも、生徒や講師の先生方前で演奏を披露



▲参加したバンドは日頃の練習の成果を存分に発揮しました



▲演奏会の終演後に集合写真を撮影しました（午前の部）



▲演奏会の終演後に集合写真を撮影しました（午後の部）

KEIONGAKUBUSEMINAR

軽音楽がセミナー

軽音楽部に関する基礎知識や実技を一挙に学べる

【参加校】

浜松学芸高等学校・静岡県立浜松北高等学校・静岡県立池新田高等学校・静岡県立藤枝東高等学校・聖隷クリストファー高等学校・浜松聖星高等学校・加藤学園高等学校

【協力】

専門学校名古屋ビジュアルアーツ

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、2019年の開催以降、見送りが続いていた技術講習会「軽音楽がセミナー」ですが、万全の対策を実施し、3年ぶりに静岡県で開催することができました。今回は浜松市内の高校を中心に、7校/約100名が参加。コロナ禍で他校との交流や外部講師を招いての講習会などが激減する中、楽器の基礎知識や演奏スキル向上のコツを学びました。

開会式を行い、まずは「部活動としての軽音楽部」に関する座学からスタート。当協会の三谷理事長が登壇し、軽音楽部の特長や部活動であることの利点、活動する上での目標設定や心構えなどについてお話ししました。具体的には、軽音楽部での活動を通して「コミュニケーション」「チームワーク」「クリエイティビティー」を育むことができる点を挙げ、オリジナル曲を創作したり、既存曲をコピーする際も自らアレンジや編成を考えるなど、特に「クリエイティブ力」を高めることができるのが、他の部活動とは一

線を画する点であることを述べました。

その後、パートごとに各教室へ移動し、レッスンがスタート。講義では、ボーカルは発声練習や自宅のできるボイス・トレーニングを、ギターやベースは楽器の構え方から始まり、チューニングのコツや運指練習、ベースは指弾きとピック弾きの使い分けを学びました。ドラムはセッティングの基本から正しい姿勢やキックの踏み方、キーボードは音楽ジャンルにマッチしたサウンドメイクや各種設定のコツなど、具体的な講習となり、参加した部員は自分の楽器で実践したり、メモを取るなど、真剣な眼差しで聴講しました。

後半は、代表バンドによるアンサンブルのクリニックです。演奏後に各パートの講師が講評を伝え、今後につながるアドバイスを伝授。他校の生徒も自分のことに置き換えて、話を聞きました。

7/17 軽音楽がセミナー@浜松学芸高等学校

開始	終了	分					
12:00			開場/参加校集合(中村記念館ホール)				
12:30	12:45	15	開会式、趣旨説明、講師紹介				
12:45	13:00	15	座学「部活動としての軽音楽部を考える」				
13:00	13:15	15	各教室に移動				
			ボーカル	ギター	ベース	ドラム	キーボード
講師	兵藤 先生		鈴木 先生	石垣 先生	堀 先生		Aya 先生
教室	S12		北館会議室	S13	S14		S11
13:15	14:15	60	レッスン①	レッスン①	レッスン①	レッスン①	レッスン①
14:15	14:25	10	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
14:25	15:25	60	レッスン②	レッスン②	レッスン②	レッスン②	レッスン②
15:25	15:40	15	移動→中村記念館ホール				
15:40	16:10	30	バンドクリニック①(静岡県立池新田高等学校)				
16:10	16:40	30	バンドクリニック②(浜松学芸高等学校)				
16:40	17:00	20	休憩(生徒インタビュー、アンケート記入)				
17:00	17:15	15	閉会式/写真撮影/アンケート回収/解散				



「各パートの先生方から基礎をしっかりと教えてもらうことができたので、良かったです。いろいろな高校が集まって参加する場を作っていたら、とても良い刺激になりました」「講義後に先生に質問をしに行ったのですが、悩んでいることに対するアドバイスをいただけたので、嬉しかったです」(聖隷クリストファー高等学校)



「ボーカルの講義を受けたのですが、流行りのミックスボイスのコツを学びました。教えていただいたことを練習して、これからも頑張りたいです」「基礎的な部分を一から見直すことができ、良かったです。先生が『歌うようにドラムを叩く』という表現をされていたのが、とても印象に残りました」(静岡県立浜松北高等学校)



「普段の部活動では学べないようなことや貴重なお話が聞けて、とても勉強になりました」「コロナ禍で今日のような講習会に参加したり、他校の人たちと交流するのは初めてだったのですが、今日は大会の緊張した雰囲気ではなく、リラックスした空気が流れていたため、楽しく講義を聞くことができました」(加藤学園高等学校)



▲「軽音楽部 2.0」と題して、部活動としての軽音楽部の特長やメリット、心構えなどについてお話ししました



▲キーボード：ジャンルに適したサウンドメイクについて



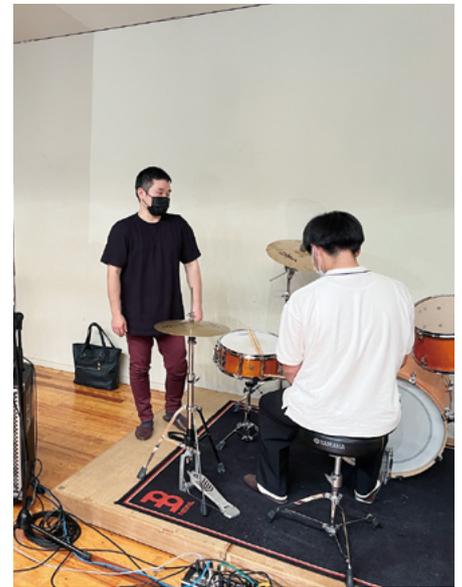
▲代表バンドが演奏し、今後につながる講評を伝えました



▲ボーカル：発声練習と自宅のできるボイス・トレーニング



▲ギター：指板図を用いて、音階の基礎や運指練習に挑戦



▲スローンの座り方と音量が出るバスドラムの踏み方を紹介



▲ベース：正しい構え方と指弾きとピック弾きのコツを伝授



▲ドラム：スティックの持ち方とシンバルへの当て方を解説



「今日は、とても良い経験になりました。来れなかった部員にも共有したいと思います」「先生に質問したところ、優しく教えてくださったのと、質問したこと+αのアドバイスもいただいたので、嬉しかったです」「普段、見落としがちな基礎の部分をしっかり教えてくださったので、とても良かったです」(浜松聖星高等学校)



「初めて教わることも、既に知っていることも今日は深く学ぶことができ、タメになることばかりだったので、参加して良かったです」「他校の演奏に刺激を受け、講師の先生のアドバイスを自分のことに置き換えて聞いていたので、とても勉強になりました。早速、学校で実践しようと思います」(静岡県立藤枝東高等学校)



「今日のような講習会は初めてだったのですが、どれも新鮮で、楽しく参加することができました」「他校の演奏に刺激を受けたほか、演奏技術や音色作りなど、参考になることばかりでした」「パートごとの講義では基礎からいろいろと学ぶことができ、教わったことを地道に続けていこうと思いました」(浜松学芸高等学校)

KEIONGAKUBUSEMINAR

軽音楽学ぶセミナー

軽音楽部に関する基礎知識や実技を一挙に学べる

【参加校】

富山県立富山工業高等学校・富山県立富山南高等学校・高岡第一高等学校・高朋高等学校

【協力】

専門学校名古屋ビジュアルアーツ

第14回 軽音楽学ぶセミナー

日時：令和4年8月1日(月) 9:30~17:00

会場：富山県立富山工業高等学校 〒930-0887 富山県富山市五福2238

主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会

協力：専門学校名古屋ビジュアルアーツ

開始	終了	分						
8:30			主催者 会場入り/準備					
9:00			開場/参加校集合(視聴覚室/B棟3階)					
9:30	9:45	15	開会式/趣旨説明					
9:45	10:15	30	座学「部活動としての軽音楽部を考える」					
10:15	10:25	10	休憩					
10:25	11:05	40	座学「アンサンブルが良くなる練習方法」					
11:05	11:15	10	休憩					
11:15	11:45	30	座学「音と電気と音響の基礎知識」					
11:45	12:35	50	昼食休憩→各自、パート別教室に移動					
			講師	ボーカル	ギター	ベース	ドラム	キーボード
			教室	大野先生 M21教室 A棟3階	鈴木先生 D2教室 A棟3階	石垣先生 E21教室 A棟3階	堀先生 A2教室 A棟3階	岡島先生 C2教室 A棟3階
12:35	13:20	45	レッスン①	レッスン①	レッスン①	レッスン①	レッスン①	
13:20	13:30	10	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	
13:30	14:15	45	レッスン②	レッスン②	レッスン②	レッスン②	レッスン②	
14:15	14:25	10	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	
14:25	15:10	45	レッスン③	レッスン③	レッスン③	レッスン③	レッスン③	
15:10	15:30	20	移動→大講義室/E棟3階					
15:30	15:45	15	バンドクリニック①(富山県立高岡南高等学校)					
15:45	16:00	15	バンドクリニック②(高岡第一高等学校)					
16:00	16:15	15	バンドクリニック③(富山県立富山工業高等学校)					
16:15	16:30	15	休憩(生徒インタビュー、アンケート記入)					
16:30	16:45	15	開会式/写真撮影/アンケート回収/解散					

「第4回 高等学校軽音楽コンテスト近畿北陸大会」の開催翌日、富山県での開催は初となる技術講習会「軽音楽学ぶセミナー」を実施。4校/約80名の軽音楽部員が参加しました。

定刻となり、開会式を済ませると、早速、座学からスタート。「部活動としての軽音楽部を考える」「アンサンブルが良くなる練習方法」「音と電気と音響の基礎知識」というテーマで、3つの講義を視聴覚室で行いました。特に1つ目の三谷理事長による「部活動としての軽音楽部を考える」の講義は初めて知ることが多かった様子で、参加した生徒からは「部活動を見直すきっかけになった」「今まで何となく取り組んでいたけれど、軽音楽部のことがもっと楽しく、より好きになった」といった感想がありました。

午後からはパートごとに教室へ移動し、レッスンを開始。講義は45分ずつを3コマ行いました。後半は代表バンドによるアンサンブルのクリニックを実施。講師がアンサンブルを中心に講評を伝え、見学の生徒も自分のバンドのことに置き換えて話を聞きました。



「主観的な視点では気づけない点や直した方がよい癖を指摘してもらえたのが、すごく良かったです。これからに生かしていきたいと思います」「初心者がつまずいてしまいそうなことの紹介から教えてもらったので、勉強になりました。バンドクリニックも客観的な感想を聞けたので、嬉しかったです」(富山県立富山南高等学校)



「今日は講師の先生から様々なことを教えてもらったので、今まで以上に音楽や楽器が好きになりました。基礎練習が一番大切と話していたのが特に印象に残りました」「僕はドラムパートの講習会に参加しました。70や80くらいのゆっくりとしたテンポでの基礎トレーニングが、とても参考になりました」(高岡第一高等学校)



「私たちの高校は初心者ばかりなのですが、講義がとてもわかりやすく、緊張を解してくれるような雰囲気もあり、とても良かったです」「クリニックではバンド内でのコミュニケーションやパフォーマンス面など、様々な視点からのアドバイスがあり、自分に置き換えて話を聞くことができました」(富山県立富山工業高等学校)



▲辻 副理事長による座学「アンサンブルが良くなるための練習方法」の1コマ。スライドを用いて、コツを伝授しました



▲キーボード：コードとボイスの成り立ちを丁寧に解説



▲譜例を見ながら、スティック・コントロールの練習に挑戦



▲ボーカル：発声の使い分けと練習する際のコツを図で紹介



▲ギター：基礎練習とコードの成り立ちを指板を用いて解説



▲ベース：メトロノームを用いた連指練習を紹介し、実践



▲ドラム：ストロークの基本とオープンリムショットのコツ



▲代表バンドが演奏を披露。講師がアドバイスを伝えました



富山県立高岡南高等学校 / Stripe
演奏曲：君の知らない物語 / Supercell

講評：トップバッターで緊張したと思いますが、堂々とした演奏でした。今後は2本のギターの棲み分けを検証したり、ベースの音色を見直すなど、「音作り」を意識してみてください。



高岡第一高等学校 / Vivace
演奏曲：黎明 (オリジナル曲)

講評：全員でリズムを取り、スネア・ドラムを叩くところ…2拍目と4拍目でノれるとなると、さらにグルーブが出て、アンサンブルにまとまりが生まれるので、意識してみましょう。



富山県立富山工業高等学校 / Street Cat
演奏曲：怪獣の花唄 / Vaundy

講評：息の合った素晴らしい演奏でした。原曲のままではキーが高く、歌い辛そうだったので、カラオケのキー・チェンジをする感覚で、キーを変える(移調する)と歌いやすくなります。

ギター、ベースの「音作り」の基礎を知ろう！

音楽のための「音学」

皆さんが部活動で行っていることは、音楽です。しかし、自分のしていることが音楽を奏でていることだと思ってる人は少ないのではないのでしょうか。え、そんなことないって？ ちゃんとドレミのことを考えているし、ピッチやチューニングも気にしていますから…といった声が聞こえてきそうですが、では、自分や自分たちのバンドが出している「音色（ねいろ）」についてどれだけ考えているでしょう。音響が好きな人やエフェクターが好きな人は研究も熱心に行っているかもしれませんが、ほとんどの人はフレーズやテクニクに気を取られて、そのフレーズがどんな音で出ているかをあまり気にしていないのではないのでしょうか。

音楽は「音」の集合体です。どんなにフレーズを間違えないように演奏できていても、音が悪くても良い音楽とは言えません。まずは「音」というものについてしっかりと学び、理解しておきましょう。「音学」を音作りの第一歩として、良い「音楽」を作りましょう。



そもそも「良い音」とは何か？

音楽も、会話も、街の雑踏も、小鳥のさえずりも、すべて「音」です。生活圏や自然界には様々な音があり、音を聴き分けることは生きていく上での大切な能力です。その「音」を意識的に操作して作り出し、声や楽器を使って表現するものが「音楽」です。良い音楽を演奏するためには「音」についての理解が必要です。

「良い音」の定義

よく、「良い音を出すにはどうしたら良いですか？」といった質問を受けます。その探究心や向上心に精一杯応えてあげたいと思うのですが、毎度返事に困ってしまいます。なぜなら、「良い音の定義」は人それぞれだからです。こうしてみたらとアドバイスしてきた音を、質問者が同じように良い音だと思うかはわかりません。音楽の専門家が言うのだからきっとこれが良い音なのだろう…と、ある意味思い込んでいるだけなのかもしれません。

年代物の高価なギター之音も、その情報がなければただの古びた音にしか聴こえないかもしれません。弾き手がその楽器のポテンシャルを引き出せない腕であっても、これは世界に数台しかない名器のバイオリンだと聞いていたら、「これが良い音というものか」と思うかもしれません。

どこか田舎の、木々が風に揺れる音や虫の声しか聴こえないような静寂を、多くの人は「良い音」としてはいますが、都会に生まれ育った人にとっては、静かすぎて怖い、落ち着かない…と思うこともあるそうです。幼稚園児や小さな子供たちの声を、朗らかで良いと思う人もいれば、騒がしい雑音と捉える人もいます。車や飛行機の爆音で鳴るエンジン音が良いという人もいれば、最近では誰かの咀嚼音を聴くのが好き（ASMR）という人も増えています。「良い音」とは、人それぞれで違うのです。

「好きな音」が「良い音」に

突然ですが、ラーメンで例えてみましょう。今では様々な味のラーメンがありますが、その中で「好きな味」「おいしいと思う味」はあっても、「良い味」というものは聞きません。あるとすれば「自分にとって良い味」ということでしょう。音楽も同じです。良い音とは「好きな音」とほぼ同義語です。自分がラーメン屋の店主だとして、どんな

に周りがある店のラーメンは不味いと言われても、自分がおいしいと思うのであれば、そのラーメンは「自分にとって良い」ラーメンなのです。

しかし、その味が独りよがりなだけならば、なかなか認められないかもしれません。ベストは、自分が良い（好き）と思うものを周りの人も同じように良いと思ってくれることです。自分の感性を信じながら、常に「音」と向き合って探究していくことが大切です。

音楽は「自己表現」の場でもあります。オリジナルのフレーズであれコピーであれ、楽器で奏でられた音も、また表現のためのピースの1つです。芝居と一緒に、同じセリフでも、どんな言い方で、どんな声で言うのかによって大きく表現は変わります。最初の質問の話に戻りますが、「良い音にしたい」と言われると困ってしまいますが、「こういう音が好きで、出したい」と言われれば、アドバイスをしていく方向性が決まってきます。まずは自分の中に「好きな音」があることが重要です。

有名店のラーメン屋は、常に味への探求を続けているはず。また、ラーメン屋を開業しようという人は皆、多くのラーメン屋を食べ歩いたり、自分が好きだと思うラーメン屋に弟子入りしたりしています。プロのミュージシャンも、新しい音楽、新しい機材に常にアンテナを張り、

テクニックを磨き、「良い音」への模索を続けています。音楽をする者にとって、「良い音」「好きな音」「出したい音」への探究は終わりがありません。皆さんも、まずはたくさん音楽を聴いて、たくさんの好きな音、弾いていて気持ちが良い音を見つけてください。

良い音の条件は「バランス」

好みはあれど、一杯のどんぶりであれば、スープ、麺、具材のバランスが取れていることや、具材同士のバランスが良いことも、おいしいラーメンの条件となります。極端に辛い、濃い、脂っこい、具が山盛り…といった個性的な一杯もありますが、多くの人を魅了しているわけですから、それぞれきちんとバランスが取れているはず。音作りの場合も、ギターやベース本体、アンプ、エフェクターなどをバランス良く使うこと、そして、バンドの中で調和の取れた音作りを目指していくことが大事です。「良い音」を出すための絶対的な条件、それはバランスです。出したい音を自分で作っていくために、まず「音」に関する知識や、楽器についての一般的な知識を身につけていきましょう。



◀人の好みはそれぞれ。自分の「好きな音」を出すための探究心が最も大切

「良い音」の定義

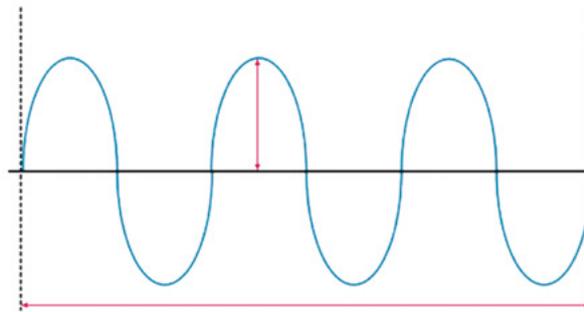
音は、空気の振動です。発生された空気の振動を鼓膜がキャッチして、言葉や音楽を脳が判断しています。音は、「音程」「音色」「音量」の3つの要素から成り立っていて、それらに変化をつけていくことが「音作り」です。

音程は、1秒間の空気の振動サイクルを数値化した「周波数」で表します。単位はHz(ヘルツ)です。人間の耳に聴こえる周波数の「可聴域」は、年齢や耳の疲労度によっても変わりますが、約20Hz～20,000Hz(20kHz)くらいと言われています。ちなみに、犬の可

聴域は65Hz～50,000Hz(50kHz)、イルカはなんと150,000Hz(150kHz)の音まで聴き分けられるそうです。

周波数は下図のようなグラフで表され、波の幅が音程を示します。数字が大きければ、

それだけ1秒間の振動数が多いという意味になり、音程は高くなります。また、波の大きさは音量を示し、波の形が音色です。波の形は正弦波(サイン波)、三角波、ノコギリ波、矩形波の4つが基本です。



◀音を図式化したもの。波の大きさが音量、幅が音程、形が音色を表します

バンドの楽器の主な帯域

周波数の高低の幅のことを「帯域」と言います。音を奏でる「楽器」には、それぞれ出ることができる帯域(音域)があります。

音域は大きく、高音域(Hight、約1kHz以上)、中音域(Middle、約400Hz～1kHz)、低音域(Low、約400Hz以下)に分けて考えられますが、ボーカルや和音など楽曲の核となるものは中音域に集まっていて、バス・ドラムやベースなどは低音域ということになります。

同じ帯域の音が同時に発音されると、音の波がお互いに干渉しあって聴こえにくくなってしまいう現象が起こります。いわゆる「音の抜けが良くない」状態です。各楽器のトーン・コントロールや、特定の帯域だけを狙って抑えることができる「イコライザー」、ドラムのチューニングなどで調整していくと、各楽器の音がクリアに聴こえやすく「抜けが良い」状態になります。演奏の核となる中音域の各パートがきちんと聴こえるように整理して音作りをすること、そして、それを生かす高音域と低音域を作ることが、バンドの音作りに最も大切なことです。

楽器は倍音や、可聴できない帯域の周波数も同時に発生しているため、本来はもっと幅は広いのですが、演奏する時に使う各楽器の主な音域は右図の通りです。

倍音とは、音を出した時に同時に発生する整数倍(100Hzなら200Hz、300Hz…)の周波数のことです。倍音は元の音(基音)に比べ、音量が小さいので気づきにくいかもしれませんが、倍音同士がぶつかり合うこともあるので、音作りには欠かせない要素です。

中音域の整理

バンドのメインはボーカルです。しっかりと歌と歌詞が聴こえるようにすることが、バンドの音作りの基本です。しかし、ボーカリストの性別や楽曲のスタイルなどによってその音域は様々です。ボーカリストの出す音(声)を打ち消さないようにすることが楽器パートの音作りの目指す方向です。

ギターやキーボードが複数あるバンドでは、その数が多ければ多いほど当然ながら中音域の整理は難しくなっていくので、常にお互いの出す音に気を配りながら自分の音を作っていくみましょう。

また、忘れがちなのが同じく中音域にいるスネア・ドラムのチューニングです。ずっと同じ音で鳴り続けるスネアの居場所は楽曲のカラーにも大きく影響します。

の演奏がより良く聴こえます。ベースとバス・ドラムの棲み分けがメインですが、ピアノの左手の低音なども注意しなければなりません。考え方としては、最も下の音域にどのパートを持っていくかを決めていくことが大切です。

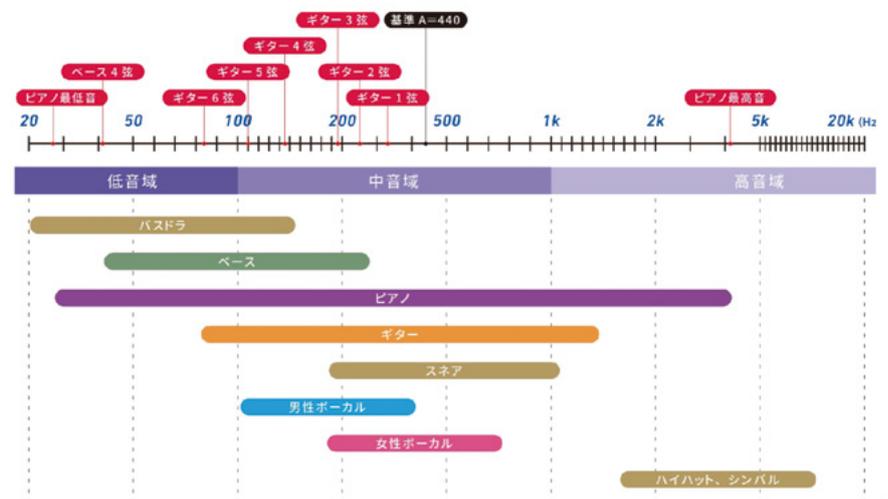
また、激しいギター・ロックな楽曲などの場合、ギターの低音域が大きく出ているとラウドな感じになりますが、ベースとの棲み分けに注意が必要です。

高音域の整理

高音域の場合、帯域の干渉よりも、トータルとしてどのくらい高音を響かせるかの方が重要になります。高音域がクリアだと演奏全体が明るくなり、全体的に絞られていると、こもったサウンドになります。出し過ぎはキンキンして軽くなってしまいますので注意が必要ですが、どんなスタイルの楽曲であっても、質の良い高音域サウンドで作られている演奏が理想です。

低音域の整理

低音域が豊かで良いサウンドだと、バンド



▲楽器ごとの帯域分布

ギター、ベースの音作りの流れ

アコースティック・ギターは、弾かれた弦の振動をボディ自体が共鳴して音が出ています。バイオリンやチェロなどのクラシックの弦楽器はもちろん、トランペットやサックスといった管楽器も同様に楽器自体が鳴っています。しかし、エレキ・ギターやエレキ・ベースは、そのままでは音が出ません。電気楽器は「電気を使って音を出している」ということが理解できれば、音作りについての理解も増していきます。

ギター、ベース本体

ポピュラー・ミュージックで使用しているエレキ・ギターやエレキ・ベースは、その名の通り「電気」を使って音を出す、比較的新しい楽器です。仕組みは、弾いた弦の振動を本体に搭載された「ピックアップ・マイク（以下、ピックアップ）」が拾い、電気信号化し、それをシールド・ケーブルをつなぐジャックからアウト・プットしています。

すなわち、ボーカル用のマイクと同じ原理がギターやベースにも備わっているということです。したがって、ピックアップへ入力される弦の音の良し悪しから、実は音作りは始まっているのです。弦の種類、ピッキングの位置や強さも重要なファクターとなります。

アンプ

エレキ・ギターやエレキ・ベースの音を出すには、出力するための機材が必要です。アンプは、ギターやベース本体から送られてきた微弱な電気信号を「プリ・アンプ」で増幅させ、さらに「パワー・アンプ」で増幅させてスピーカーで鳴ら

す機材です。電気信号を今度はまた空気の振動に戻すわけです。アンプには、様々な音作りのための装置が付いた機種が存在し、アンプ選びが音作りの重要な工程でもあります。

現在では、様々なアンプの特性を再現できる「モデリング」「プロファイリング」という技術を使ったデジタル・アンプもあり、出せる音や、できる音作りが格段に増えました。

エフェクター

ギターやベース本体、ギター・アンプやベース・アンプそれぞれでも音作りが可能ですが、近年では「エフェクター」を使った音作りが主流になっています。その方が幅広く音作りができ、様々なジャンルや環境に対応することができるからです。

近年では、エフェクターの定番だったコンパクト・エフェクター（アナログ）の他に、高性能なマルチ・エフェクター（デジタル）も出てきており、アンプ同様、音作りの幅が格段に広がりました。



バンドの中での良い音が本当の「良い音」

バンドで演奏する時には、たくさんの音が鳴っています。たとえ、どんなに好きな音が作れたとしても、バンド全体の中で聴いた時に良くなければ、本当の良い音とは言えません。どんなにおいしいラーメンでも、付け合わせにお刺身やカレーが一緒だったら合いません。それぞれがバツグンにおいしくても、一緒に食べた時（音を出した時）のバランスが大事なのです。最終的な良い音とは、バンドの中で聴いた時に良い音だと思える音のことです。

「音作り」とは、楽器の音色を自分の好みにするというだけでなく、メンバー同士、お互いのことを尊重しながらトータルでどんなバンド・サウンドにするのかを決めていく作業でもあります。バンド・アンサンブルにとって、とても大切なことです。

また、音の聴こえ方や響き方は練習場所やライブ会場の環境によって変わります。一度作ったものが絶対的な完成形ではありません。微妙な変化に対応できるスキルを身につけましょう。



▲音作りもバンド・アンサンブルのうちです！

ギター、ベース本体でできること



ピックアップの選択

ギターやベースには、本体にピックアップが通常2～3つ搭載されています。一般的には、ボディのブリッジ側を「リア・ピックアップ」、ネック側を「フロント・ピックアップ」と呼び、3つ搭載されている場合は、真ん中を「センター・ピックアップ」と呼びます。

音色は、リアが最も強く歯切れが良く、ネックに近くなるほど丸く柔らかくなります。ギターの場合は、ハードに歪ませたい時はリア、クリーンで優しい音を出したい時はフロント…というように、エフェクターで音を加工する前にセレクターで選択します。

トーン・コントロール

ギターやベース本体にはピックアップの音量と音色を調節する「VOLUME」と「TONE」というツマミ（コントロール・ノブ）が付いています。しかし、VOLUMEとTONEは通常全開（10）にしておきます。VOLUMEを絞ると出力が下がってエフェクターの効果が弱くなります。TONEは、絞ると高音域が削れてこもった音になります。意図的に絞る場合もありますが、音の抜けが悪くなるので注意が必要です。

上級者にもなれば、これらコントロール系の

ツマミを上手に使うことでサウンドにバリエーションがつけられるようになります。しかし、慣れないうちはフルにしておく方が無難です。

ピッキング

ギターやベースは、弦を弾（はじ）いて音を出します。ベースは指弾きスタイルも多いですが、ギターは主にピックを使います。弦を弾いて鳴った音をピックアップで拾うため、ピッキングの位置や強さでも音は変わります。

ピックアップ同様、ネック側で弾けば柔らかく、ブリッジ側なら硬めのサウンドが得られます。また、ピックを優しく持ったり少し力を入れて持つだけでも大きなニュアンスの違いが生

まれます。場合によっては、歪み加減さえもコントロールすることができます。

弦

弦の違いによっても音は変わります。弦の太さのことを「ゲージ」と言いますが、ゲージの数字が大きくなれば音も基本的には太くなります。しかし、その分、弦の張りがキツくなるので、チョーキングなどは弾きづらく感じるかもしれません。

また、音は弦の材質によっても変わるので、いろいろと試行錯誤しながら好みのものを探してください。



◀ピックは先端部分だけが弦に当たるようにしよう

アンプでできること

アンプの種類とインプットの選択

ギターやベースで弾いた音を増幅させる「アンプ」には、大きく2種類があります。真空管(チューブ管)を使って増幅させるタイプと、トランジスタを使っているタイプです。チューブ・アンプは、本体だけで暖かな歪みサウンドが得られるため、好んで使用する人もいますが、エフェクターによる音作りが一般的になっていたり、アンプ自体の進化も著しい現代では、音作りの土台となるクリーン・サウンドが綺麗なトランジスタ・アンプが主流です。

また、アンプには複数のチャンネル(入力端子)がある場合があります。機種によって様々ですが、ギターやベース本体からの入力信号の高低、クリーンとドライブ…など、用途によって使い分けることができます。

「センド/リターン(エフェクト・ループ)」の端子が付いている機種であれば、リターン端子につなぐことで、エフェクターで作った音色や音量をそのままアンプのスピーカーで出すことができます。

トーン・コントロール

一般的なギター・アンプやベース・アンプには、いくつかのトーン・コントロールのつまみが付いています。

高音域を調節する「Treble(トレブル)」、中音域を調節する「Middle(ミドル)」、低音域を調節する「Bass(ベース)」と、総音量を調節する「Master(マスター)」です。

アンプによっては、さらに下表のような調節ができます。PRESENCEは、音がボヤけて聴こえる時などに上げると音の輪郭がはっきりしますが、上げすぎると音がガラガラして線が細くなってしまいます。RESONANCEは、うまく使えば音をヘヴィにしてくれますが、低音域の音の分離が悪くなってしまいうこともあるので、こちらも上げすぎには注意が必要です。

BRI(ブライト・スイッチ)	Trebleよりもさらに上の高音域を強調する
PRESENCE(プレゼンス)	高音域の音質を調節する
RESONANCE(レゾナンス)	低音域の音質を調節する
GAIN(ゲイン)	楽器からの入力音量を調節する

GAINは、楽器からの音量をコントロールするつまみで、上げると歪んでいきます。ベースの場合は、上げすぎると必要以上に音が歪むことがあるので気をつけましょう。

エフェクト

ギター・アンプやベース・アンプには、音を加工する「エフェクト」機能が付いている場合もあります。

詳しくは、エフェクトの項を参照してもらいたいと思いますが、例えば、ディストーションやドライブといった歪み系から、リバーブ、ディレイ、トレモロ、コーラス、フェイザーなどがあり、アンプだけである程度音を作ることができます。トライ&エラーのつもりで、とにかく触ってみることから始めましょう。



▲ Marshall JCM2000
チューブ・アンプでアンプ部とスピーカー部が分かれたスタック・タイプ



◀ フロント・パネル。まずつまみを真上(時計の12時)に上げておいて音量を上げ、微調整する



▲ リア・パネル。ライン・アウトやフット・スイッチの入力もある



▲ Roland JAZZ CHORUS 120
トランジスタ・アンプで、アンプ部とスピーカー部が一体化したコンボ・タイプ

エフェクターでできること

音を加工する

電気（電子）楽器で音楽を作るポピュラー・ミュージックでは、音の加工「エフェクト」が重要なポイントです。特に、独立した外部機器「エフェクター」は、楽器やバンドの音作りには欠かせないツールです。

一般的に何のエフェクトもしていない音のことを「クリーン・トーン」と言います。正確には、

温かみがあったりギラギラしたり、クリーン・トーンにも種類がありますが、ギターやベース本体とアンプのトーン・コントロールで作られたクリーン・トーンの「原音」を加工したり、アンプで作ったサウンドにプラス・アルファして、各楽器のサウンド・メイクをしていきます。代表的なエフェクターを系列に分けて紹介しますので、名称と効果をチェックしておきましょう。

しかし、音作りはここまで見てきたように、本体やアンプ、ピッキングなども関わってくるもの

です。総合的な知識と経験が大切です。

残念ながら誌面では実際の音を紹介することはできませんが、現代は動画共有サイトをはじめ、メーカー、楽器店、ミュージシャンが参考動画をインターネットにアップしています。いろいろググってみてください！

歪み（ひずみ）系：音を歪ませてワイルドなサウンドにする

オーバー・ドライブ	あえて出力過多させるイメージ。アナログな優しく暖かみがあるオールマイティーな歪み
ディストーション	音を機械的にゆがめたイメージ。LOUDな楽曲に似合う荒々しく硬質な歪み
ファズ	強引に音をけば立たせたイメージ。爆発的で過激な歪み

空間系：音に奥行きを出して広がりのあるサウンドにする

リバーブ	空間による音の残響効果を出す。大きなホールや教室など、広さを調整できる
ディレイ	やまびこのような音の反響効果を出す。タイミングや反響音の大きさも調整できる

モジュレーション系：音を揺らして印象的なサウンドにする

コーラス	原音に約 0.01 秒遅らせた音を混ぜて揺らす。透明感やリバーブとは違う広がりが出る
トレモロ	音量を上下させて揺らす。断続的な音が独特の残響感を出す。ステレオで左右に振ることも可能
フェイザー	原音に位相のズレた（逆位相）の音を混ぜて揺らす。シュワシュワした音が特徴
フランジャー	入力された音声信号を遅延させてウネらせる、飛び道具的なジェット・サウンドを出す

フィルター系：周波数帯を操作して音を変化させる

イコライザー	特定の周波数帯を加減させて音を変化させる
ワウ	高音域を断続的に制御してサウンドを変化させる。足で操作するワウ・ペダルもある

ピッチ・シフト系：音の高さ（音高・ピッチ）を操作して音を変化させる

オクターバー ハーモナイザー	原音にオクターブ違いの音や任意の音程が違う音を重ねて厚みを出す
ワーマー	原音のピッチを自由に変化させる。足で操作するワーマー・ペダルもある

コンパクト vs マルチ



エフェクターには、1つのエフェクト効果を1台で行う「コンパクト・エフェクター」と、複数のエフェクトが1台の中に搭載されている「マルチ・エフェクター」があります。またまた食べ物で例えると、ハンバーグやエビフライなど好みのメニューを単品で頼むか、ミックスグリルのような様々なおかずがワンプレートになっている方が良いか、に近いかも

しれません。わかりにくいかな(笑)。

とどのつまり、どちらにも捨てがたい部分や有効な部分があるので、どちらを選ぶかは自分次第です。使い勝手、サウンドの好み、コストや持ち運ぶ時のことを考えたりして決めていきましょう。

コンパクト・エフェクター

コンパクト・エフェクターは、主にアナログ回路なこともあり、音に暖かみがあって根強い人気があります。また、それぞれの効果をツマミで直感的にいじれることや、必要に応じて使用するものを交換できることは大きなメリットです。また、違うメーカーの好みのエフェクター同士をつなげられるのも嬉しいポイントです。

しかし、複数台つなげる場合は、音の劣化やノイズの発生に注意が必要です。例えば、空間系のエフェクターは必ず歪み系のエフェクターの後につなげることが原則です。前に

つないでしまうと同時に使った時に音が濁ってしまいます。さらに言えば、1台1台が独立しているということは、エフェクター同士をつなぐ「パッチ・ケーブル」や集中電源も必要だったり、ノイズの発生時や音が出なかつ



◀ BOSS Blues Driver BD-2
クランチな歪みからハードな歪みまで多彩なオーバー・ドライブが人気
市場価格: ¥11,000 (前後)

たりした時の原因究明に時間がかかりがちなことでもメリットの一つかもしれません。

こだわりが強い、上級者向けにも感じられますが、歪み系を1台持っているだけでも音作りやソロ時のブーストに効果大です。



▲ Teck21 SANSAMP BASS DRIVER DI
プリ・アンプやDIの用途もあるベース用歪みエフェクターの代表格
市場価格: ¥31,900 (前後)

マルチ・エフェクター

機種にもよりますが、マルチ・エフェクターにはデジタル化された数十から数百のエフェクト・サウンドが1台に搭載されています。また、近年のマルチ・エフェクターには、アンプ・シミュレーターが内蔵されていることがほとんどなので、トランジスタ・アンプにつないでもチューブ・アンプをはじめとした様々なアンプ・サウンドを1台で作ることができます。

マルチ・エフェクターで作ったサウンドは、本機に保存しておくことができ、楽曲ごと、

セクションごとの切り替えが素早くできることが利点です。しかし、逆にできることが多すぎたり、ほとんどを液晶画面で操作していかなくてはならず、使い方に慣れるまでが大変…というところが難点です。

ヘッドフォン端子が付いているので、自宅

での練習や音作りも可能なところが大きなメリットの一つです。多機能なので、初心者にはなんとなく敬遠されがちですが、逆にオール・イン・ワンなマルチ・エフェクターの方が初心者にお勧めです。



◀ BOSS GT-1
Guitar Effects Processor
通常のマルチ・エフェクターの機能にプラス、様々な音色をダウンロードできる
市場価格: ¥22,000 (前後)

ロックの 解体新書

ロックという音楽が生まれてから既に 70 年近くの月日が流れ、今でも多くの人から愛され続けている名曲がたくさんあります。皆さんが普段聴いている楽曲の中にも、何十年後かにはスタンダードとなって、その時代の人たちに愛されていく楽曲があるかもしれません。名曲と言われる楽曲は歌詞が良い、メロディーが良い、アレンジが良い、演奏がうまいといったことだけではなく、それらを表現するプレイヤーの音楽的センスによってしっかりと絡み合っています。楽曲を「解体」してみれば、そこには必ず名曲が「名曲」となる秘密が隠されているはずです。ぜひ例題曲のコピーをする時やオリジナル曲を作る時の参考にしてください。

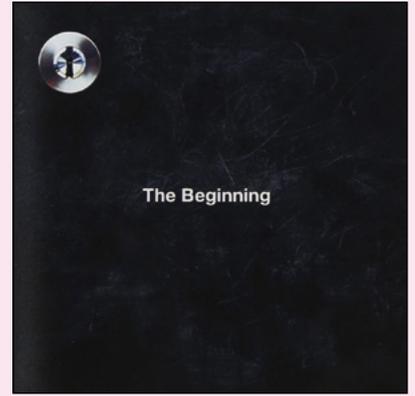




ロックの解体新書 ボーカル編

文・伊丹谷良介

ONE OK ROCK The Beginning ～英詞と日本語の違いを超えた歌唱～



日本を代表するロック・バンド、ONE OK ROCKの7thシングルが「The Beginning」だ。実写版映画「るろうに剣心」の主題歌として2012年にリリースされた、彼らの代表曲の1つだ。映画の主題歌であったということも大きいかもしれないが、歌詞のほとんどが英語の楽曲がヒットチャート上位に入ることは珍しい。日本のロック史においても重要な出来事として記憶されるべきだろう。

冒頭1秒のブレスに込められた想い・・・・・・・・

ボーカルのテクニックに大事な「声量」と「リズム感」には、何よりも「呼吸」が重要となる。この楽曲では、歌い出しの「Just give me a reason...」の前に聴こえる、「スゥ〜」というブレスにそれがすでに表れている（譜例）。

声量に大切なことは、どれだけ空気を吸えるかという「吸気」で、しっかりとお腹に空気を送り込むことによって確かな発声となる。冒頭のブレスの後にくる、エッジ・ボイスで歌う1オクターブ下のサビのメロディーはまさに「声量が必要な発声」であり、8分音符のピアノとギターのバックイングと共に、しっかりとグルーブしながら発声されている。

また、歌い出しのサビのメロディーは「弱起（アフタクト）」になっていて、英語の文法とアクセント上、アメリカ生まれであるロックの持つリズムにはまりやすい。弱起は、きちんとリズムに乗っていないと歌えないが、彼らが英詞にこだわる理由の1つと思われる。



譜例 楽曲冒頭のブレスとサビの弱起のメロディー部分

さらには、歌詞の面から見ても、このブレスが深呼吸をして絞り出すようにやっと言葉になった…というような感情を演出し、楽曲の始まりからリスナーを釘づけにする効果がある。冒頭の1秒のブレスに込められた感情表現と、歌唱テクニックの高さが表れている。

歌始まりの楽曲は特に、ブレス、ピッチ、テンポ、グルーブ、感情表現といった音楽的なことがしっかりと行われていなければ、その後の展開に大きく影響してしまうので注意が必要だ。

バンド・ボーカルとしての心得・・・・・・・・

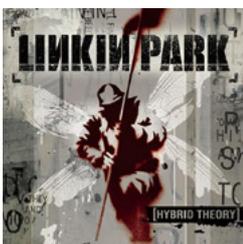
ハードなバンドのボーカリストは、楽器の演奏に負けない声でダイナミクスを表現することが大切だ。この楽曲では、Aメロ、Bメロ、サビなどの違いがしっかりと歌い分けられている。それは、声の大小だけではなく、音色、立ち上がり、しゃくり、フォール、ビブラートなど、楽譜では表すことができない細かい感情表現が行われているからだ。どのセクションも、メロディーを1音1音、高い集中力で大切に歌っているのがよくわかる。

その集中力は、体力的にもかなりパワーを浪費していると思われるが、ただ激しく暴れて歌っているわけではなく、心の中はものすごく落ち着いているながら歌っているのだ。だからこそ、この楽曲が輝き、世界中の人が心を打たれる要因の1つとなっているのだろう。



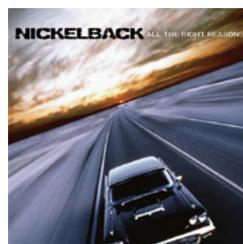
▲気迫と冷静さを併せ持つことは剣士と通じる！？

参考にするなら、この曲もオススメ！



Linkin Park Crawling

アメリカのオルタナティブ・バンド、リンクン・パークが2000年にリリースした1st.アルバム『Hybrid Theory』からのシングル・カット。同年、アメリカで年間最も売れたアルバムとして認定された。ラウド・ロックの入門編としてお薦めだ。



Nickelback Photograph

クルーガー兄弟を中心に結成されたカナダのバンド、ニッケルバックの大ヒットした5thアルバム『All The Right Reasons』に収録。オルタナティブ・ロックを基調としたラウドなサウンドにキャッチーさと繊細さが人気。2005年リリース。



ロックの解体新書 ギター編

文・岩尾 徹



SHISHAMO ほら、笑ってる

～歌を生かすシンプルで無駄のないプレイ～

2017年にリリースされた、3ピース・ガールズ・バンド、SHISHAMOの7thシングル。映画「ミックス」の主題歌で、頑張る女性に寄り添う歌詞とメロディーが、強く真直ぐに響いてくるメディアム・テンポのバラードだ。このような楽曲を、3ピースという最少限のアンサンブルで演奏する場合、ギターの無駄のないアプローチがとても重要になってくる。

コードの弾き方で表情をつける

ハーモニーを奏でる楽器がギター1本の場合、演奏できることが限られてしまうので、バックングの際にコードを弾くタイミングやニュアンスがとても重要になってくる。この楽曲では、曲始まりのところやAメロなど、ギターが歌の呼吸に合わせてコードを弾いていることが、まず注目すべきポイントだ。演奏をボーカリストの呼吸に合わせて、ストロークも優しくなり、ゆったりとした雰囲気を出すことができる。ボーカル&ギターのように歌いながら弾く場合は難しくないかもしれないが、バンドでボーカルが他にいる場合は、一緒に歌っているつもりでギターを弾くようにすると良いだろう。

バンドでの演奏になっても、ただ単にドラムやベースとリズムを合わせて弾くのではなく、それまでと同様に、歌の呼吸を意識してバックングしている、1つ1つの音の「切り方」も自然に歌に寄り添い、ある意味ルーズなグルーブの中にもメリハリをつけることができる。

サビではさらに、2拍目と4拍目にアクセントをつけたバックングが加わる。ドラムのスネアと同じタイミングで弾くことで、よりビートが強調され、サビらしい盛り上がりを出している。これは、それまでの流れのバックング・パターン、もしくはリズム・パターンに変化を与えたい時に効果的な手法の1つでもある(譜例)。

また、楽曲のアクセントとなるギター・ソロも、コーラスのメロディー

と一体感を出すようにアプローチすることで、楽曲の雰囲気壊すことなく、3ピースながらもサウンドに厚みを出している。



譜例 Gt1だけを弾いた時と、Gt2と一緒に弾いた時のグルーブの違いは明らか

存在感のある「ざらつき」サウンド

このようなしっとりとした楽曲を演奏する場合、綺麗なクリーン・トーンを選択してしまいがちだが、バンドの編成次第ではとてもコシの弱いサウンドになってしまうこともある。ギターが1本の場合、程よく存在感があるサウンドが必要になるので、ほんの少し歪ませて「ざらつき感」を出すと、音にコシも出て適度な力強さのあるサウンドになる。

ギターは、テレキャスター・タイプなどのシングル・コイル系ピックアップを搭載しているものの方が、コードを弾いた時の音の分離も良く、楽曲とマッチするだろう。



▲軽く歪ませてコードを弾くのに適しているテレキャスター・タイプのギター

参考にするなら、この曲もオススメ!



Hump Back ゆれる

3ピース・ガールズ・バンド、ハンブ・バックの2017年にリリースされた2ndミニアルバム『hanamuke』に収録。メディアムなバラード調の楽曲をうまく盛り上げているシンプルながらもツボを押さえたギター・プレイが印象的。



back number 花束

2011年にメジャー・デビューを果たしたバンド、バック・ナンバーが同年にリリースした2ndシングルで、彼らの代表曲の1つ。この楽曲を元にした短編映画も作られた。メロウで程良い歪みのギター・サウンドが曲調に合っている。



ロックの解体新書 ベース編

文・山田潤一

SUPER BEAVER らしさ

～攻守のあるベース・ライン～



4人組ロック・バンド、SUPER BEAVERの6thシングルで、紆余曲折のあったバンドの起死回生のヒット曲となった「らしさ」は、2014年にリリースされている。主題歌となったアニメ「ばらかもん」の世界観を表現したような歌詞と、その歌詞を生かすアレンジがうまく兼ね合った楽曲だが、4人組バンドでありながらも楽器編成はギター、ベース、ドラムとシンプルでストレートなギター・バンド・サウンドだ。ベースはボトムを「守り」支えながら、時に動きのある「攻め」に転じるバランスの良いラインになっている。

楽曲を支え、時に主張するベース.....

イントロは他の楽器が細かい音符を演奏しているため、ベースは音数を少なくしているが、Aメロ前半はイントロとは逆に他の楽器の音数が少ない中、ベースが8ビートで引っ張っている。しかし、単なる8ビートではなく、歌メロに寄り添うような歌心のあるベース・ラインになっているところがポイントだ。

Bメロはハーフ・タイムのリズムで始まり、後半になって8ビートに戻るのだが、ベースはしっかりとバス・ドラムとスネアに合わせてボトムを支える「守り」のベース・ラインをキープしている。また、サビでは低い音域と高い音域を使い分けて弾いているが、フレーズは細かく動かしていない。高い音域で華のあるメロディーを弾きながらも、ボトム感のあるフレーズがとてもバランスが良い。

しかし、2コーラス目では、あれだけボトムを支えてきたベースが一気に「攻め」に転じる。Aメロ後半では、コードに合わせて印象的なフレーズを弾いているが、サビ前も同様にコードFとCを軸にしたフレーズとなっていて楽曲を支配している（譜例）。とはいえ、どんなに攻めていても、コードとボトムをしっかりと押さえているところは見逃せないポイントと言える。

この楽曲は、Aメロに入った瞬間『自分らしさ』とは?』と問いかけるように長いブレイクがある。それは、Bメロも同様で、歌詞に添ってハーフ・タイムとなり（立ち止まり変化を受け止めているイメージ）、その後8ビートになって（答えを見出し歩み出すイメージ）…と、サビに向かうダイナミクスをつけている。歌詞を大切に、細かくアレンジされているのも彼らの特徴であり、この楽曲の魅力でもある。



譜例 2 サビ前のフレーズ。シンコペーションがフレーズに勢いを生んでいる

こだわりの音作り.....

ベーシストの上杉研太は、基本的にピック弾きが多いようだ。普段使用している楽器はジャズ・ベース・タイプだと思われる。ベース・アンプは、ORANGE/AD200BのヘッドとDI（ダイレクト・ボックス）を使用している。歪み好きとしても知られている上杉だが、この楽曲も恐らくはプリアンプなどで少し歪ませているのであろう。



▲楽曲にあったサウンド・メイクも大切だ

参考にするなら、この曲もオススメ!



水樹奈々 純潔パラドクス

声優であり歌手としても活躍する水樹奈々の25thシングルで、アニメ「BLOOD-C」のエンディング・テーマでもあったヒット曲。攻撃的なアニソンらしいベース・ラインになっているが、ボトムはしっかりと押さえられている。2011年リリース。



AKINO 創聖のアクエリオン

15歳だったbless4のメンバー、AKINOのソロ・デビュー曲。2005年にリリースされたアニメ「創聖のアクエリオン」のオープニング・テーマ。グルーブに徹したラインで、驚異的ロング・ヒットを支える大人なアニソン・ベースを体感できる。



ロックの解体新書 ドラム編

文・辻 伸介

ASIAN KUNG-FU GENERATION リライト

～熱い躍動感とクールなドラミング～



2004年のデビューから、伝説的なバンドとして君臨し続けるバンド、ASIAN KUNG-FU GENERATION。この楽曲は、アニメ『鋼の錬金術師』のオープニング・テーマとして大ヒットした。シンプルでアップ・テンポな8ビートの楽曲は、ほとぼしるエネルギーと躍動感を聴く者に与えるが、この楽曲のようにボーカルがクールなAメロから一転してサビで雄叫びをあげるかのように歌う曲作り&アレンジは、静と動のギャップによってドラマチック性がより演出される。シリアスでSF的な冒険活劇アニメの主題歌としては、まさに打ってつけた。

安定感と疾走感のある8ビート・・・・・・・・

「疾走感のある楽曲はテンポが速い」と思い込みがちだが、この楽曲は、テンポがだいたい＝180ぐらいで、イメージよりもかなり遅い。パンキッシュな8ビートがテンポの速さではなく、ドラミングや他パートとのアンサンブル、ダイナミクス、感情などで躍動感が表現されている。

ドラムの基本パターンは王道のフレーズだが、8分音符を主体とした8ビートのリズムが、ベースやギターとしっかりとユニゾンしている。楽曲のドラムに安定感が出ている理由はここにあるのだ。



▲意外とクールな8分音符をキープしている

また、フィ

ル・インもテンポが乱れる要因の1つになりがちだが、特に、「速い」とイメージしている場合は勢いに任せて叩いてしまうことが多い。実際、原曲もフィル・インで「走っている」のだが、メトロノームでの練習を繰り返して、自分のテンポ感のズレを調整していくしかない。ポイントは「そんなに速くないぞ」と自己暗示にかけること、集中して丁寧に叩くこと、それにリラックスすることだ。サビの最後の部分のような長いフィル・インなどは特に気をつけた方が良さだろう。

レゲエ・フレーバーを取り入れたアレンジ・・・・・・・・

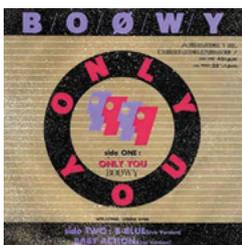
アジカンは、バンド結成20年の節目の2016年、名盤の誉高い2004年リリースの2ndアルバム『ソルファ』を全曲再レコーディングしている。前代未聞のことだが、若さ溢れる2004年盤と円熟味を増した2016年盤を聴き比べてみるのも面白い。

当然、「リライト」の新バージョンも2016年盤に収録されているが、中間部分のレゲエ・フレーバーなアレンジ部分のドラミングに大きな変化がある。旧バージョンでは、パーカッション的なアプローチが目立っていたが（譜例）、新バージョンではフレーズは簡素化され、全体的に妖しげなレゲエっぽさがさらに強調されている。どちらもサビやリフなどとの温度差が激しいクールさだが、この部分のフレーズや本来のアレンジが持つ雰囲気は、2016年バージョンの方が感じやすいかもしれない。



譜例 ハーフ・タイムのリズムに、パーカッション的アプローチのフィル・イン

参考にするなら、この曲もオススメ！



BOØWY ONLY YOU

1980年代を代表する日本の伝説的ロック・バンド、BOØWYの5thシングルで代表曲の1つ。カリスマ的フロントマン2人を支えるリズム隊である松井常松（Ba）と高橋まこと（Ds）の出すタイトで攻撃的な8ビートは必聴。1988年リリース。



The Police Message In A Bottle

パンク・ロックとレゲエをミックスしたバンド、ザ・ポリスが1979年にリリースした2ndアルバム『Reggatta de Blanc』からの先行シングル。哲学的な歌詞に絡み合うスチュワート・コーブランド（Ds）の独創的なドラミングが小気味良い。



文・竹中敬一

Official 髭男 dism Tell Me Baby

～シンセサイザーを全面に出したアレンジ～

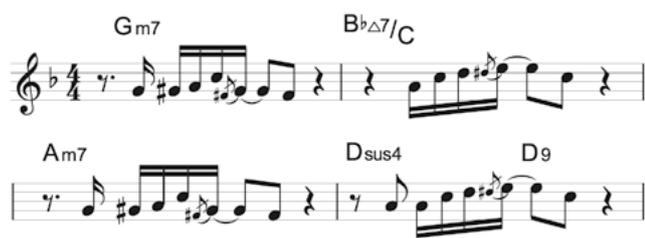


今や日本を代表するバンドとなった4人組のバンド、「ヒゲダン」とOfficial 髭男 dism。メイン・ボーカルでキーボード担当の藤原聡は、作詞・作曲のほかプログラミングまでこなすバンドの中心的人物だ。2017年にデジタル配信という形でリリースされたこの楽曲は、1980年代のエレクトリック・ファンクを彷彿させるような、シンセサイザーの音色で彩られたノリの良いダンス・チューンだ。

リズムは大きく、フレーズはシャープに……

何よりもまず印象的なのが、重いビートで打つドラムのバス・ドラムとスネアだ。体にズシリとくる4分音符のミディアム・テンポのリズムが気持ちいい。キーボード・パートの基本的なバックギンも、空間を埋める「パッド」の音色によるコード弾きが、大きい「うねり」を作るドラムと似た役割を担っている。そして、このうねりの後ろで鳴っている様々な音が、この楽曲のクールなカッコ良さを演出しているのだ。

他に、キーボード的には、サビとイントロ部分に登場するシンセサイザーのフレーズを押さえておきたい(譜例)。楽曲の後半では何度も繰り返され、サビのメロディーに1拍遅れて乗っかる絡みが見事だ。このシンセサイザーの音色は、粘りのある艶やかな音をメインに、細く粗



譜例 インтроのコード進行とシンセサイザーのフレーズ

いツーンとした音を控えめに重ねている。全体的なサウンドの中で、非常に抜けて聴こえる音色だ。

エレクトリックなコーラス・パート……

ファンクも含めたブラック・ミュージックの定番アレンジの1つに、「重厚なハーモニーで歌うサビのメロディー」がある。主旋律に対して「ウーアー」系のコーラスをするのではなく、なるべく多くの人が主旋律をハモって歌うスタイルだ。しかし、これをバンド・メンバー全員で演じるにはかなりのスキルが要求される。

サビの「♪ tell me, tell me～」の部分は、機械が歌っているように聴こえるが、これは「ボコーダー」という楽器によるものだ。ボコーダーは、シンセサイザーの一種と捉えて良いだろう。原理をざっくり説明すると、マイクから入力された声を輪切りにして音の特徴を分析し、同時に弾いたシンセサイザーの音で電氣的に再現する……というものだ。結果、シンセサイザーの音でしゃべっているように聴こえ、面白い効果が得られる。ディスコ・ミュージックが好まれていた1980年代には「ロボット・ボイス」などとも呼ばれ、シンセサイザー・アレンジの手法の1つとしてよく取り入れられていた。この楽曲が少しレトロな雰囲気を持っている理由は、こんなところにもあるのだろう。



▲ビンテージ機種を再現したボコーダー。Roland VP-03

参考にするなら、この曲もオススメ!



Prince 1999

孤高のアーティスト、プリンスが1982年にリリースした5thアルバム『1999』のタイトル曲。4分音符で無機質なドラム・マシンのリズムがループする上に楽器が重ねられ、魔法のように16ビートの熱いファンキーなグルーブが生まれている。



イエロー・マジック・オーケストラ Behind The Mask

日本のテクノ・ユニット、通称「YMO」の代表曲「Technopolis」「Rydeen」などを収録する2ndアルバム『Solid State Survivor』の中の1曲。サビのメロディーではボコーダーを使い、4声ハーモニーを疑似再現している。1979年リリース。

ネットアーティスト

「働きながら音楽をやる」が当たり前前に…

音楽やエンターテインメントに関する職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回はネットアーティストについて、専門学校 ESP エンタテインメント東京の澤田先生に伺いました。

ー ネットアーティスト全般について教えてください

澤田：軽音楽部に所属している皆さんであれば、見たり、聴いたりしたことがあると思いますが、昨今 YouTube や Instagram をはじめとした SNS やインターネット上で活動しているアーティストについて、お話ししたいと思います。

いわゆる「歌ってみた」や「弾いてみた」のような既存曲の演奏動画やオリジナル音源の公開、その他、様々な企画を発信して、その再生数に応じた報酬や広告収入を得る…という仕組みが主流になっています。

元々「歌ってみた」や「弾いてみた」というカルチャーは 10 年以上前からありましたが、ここ数年で「仕事」としてきちんと認知され、市場は非常に活発になってきています。例えば、広告収入が発生する基準となる「チャンネル登録者数 1,000 人」以上を抱える日本国内の YouTube チャンネルは 5,000 を超え、その経済規模は昨年は 531 億円にまで上っています。また、スマートフォンだけで手軽にできることもあり、始めるハードルが非常に低いのも魅力の 1 つです。

そういったところもあり、普段は別の仕事や学校に通いながら活動している人が非常に多い…というのが大きな特徴です。また、ネット上の活動が話題になり、テレビ出演やライブの開催につながり、大成功しているアーティストもどんどん出てきています。

ー 入学前に、ある程度の知識は必要ですか？ 高校時代にやっておいた方が良いことも教えてください

澤田：この仕事自体は専門学校に通わなくて

も始められるものですが、ネットアーティストとして活動していきたいということであれば、楽器の演奏なり、作曲なりのスキルやセンスは必須になります。皆さんも同じ曲の解説動画を見るなら、より上手な人ものを見たいと思いますよね。これらを短期間で磨くのであれば、「専門学校でスキルをきちんと身に付ける」というのも選択肢に入れてみてください。ちなみに、本校の音楽アーティスト科では動画編集についての授業も行っているため、入学する前から動画の撮影や編集、公開などの知識やスキルを持っていなくても大丈夫です。

とはいえ、高校時代から好きな音楽をコピーしたり、作曲をしたり、自分の YouTube チャンネルを作って投稿してみたり…という経験は、確実に知識やスキルの上積みになります。ゆくゆくはクオリティーも意識しなければいけなくなりますが、まずはあまり難しいことは考えずに普段部活動でやっていることを継続しつつ、はじめての活動にもチャレンジしてみることをおすすめします。

ー この仕事の楽しいところを教えてください

澤田：アーティスト全般に言えることですが、「人に影響を与える、夢を与えることができる仕事」というのが最大の魅力です。自分が作って投稿した曲をフォロワーが歌ってくれたり、自分と同じギターを使う人が出てきたり…まさにアーティスト冥利に尽きるのではないかと思います。また、「楽しい」という感覚とは少し異なりますが、他の仕事で安定した収入を得ながら、自分の好きな活動をしやすいというのもネットアーティストのメリットです。オンライン化が進んだことによって、ネット

アーティストとしての働き方が当たり前になってきた、と言っても良いかもしれません。本校でも、こういったライフスタイルを希望する学生が年々増えており、また、業界内でも理解されていることを受けて、希望する学生にはアーティスト活動と並行して働ける就職先を紹介しています。

ー この仕事の大変なところを教えてください

澤田：何となく、ネットアーティストは簡単になれそうなイメージのある仕事ですが、実際に収入につなげていくのは、なかなか大変です。例えば、YouTube で再生数に応じて広告収入を得るためには「チャンネル登録者数が 1,000 人以上」「直近 1 年間の動画の総再生時間数が 4,000 時間以上」になるというのが絶対条件になります。ネットアーティストとして収入を得るためには、まずこの高いハードルを越えなければいけません。同じ分野で投稿しているライバルもたくさんいますし、その中でどうやって自分がフォロワーを獲得していくのかを工夫し続けていくことが必要です。

ー この仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか。3 つほど教えてください

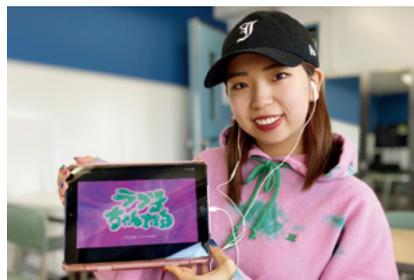
澤田：1 つ目は「流行に敏感になること」。どうしても見てもらいやすいのは、その時に流行している曲やジャンルになります。常にアンテナを張りながら、自分の活動に落とし込んでいきましょう。余談ですが、コロナ禍以降、プロダクションのスカウトの仕方も変わってきており、各種 SNS で話題の曲を新着順で検索して順番に見ていき、気になった人がいたら、DM を送る…という手法になってきています。

2 つ目は「継続すること」。活動する SNS や投稿する内容によって頻度は違いますが、コンスタントに作品を投稿していくことが、とても重要な仕事です。

3 つ目は「活動を楽しむこと」。ネットに限らずですが、自分でアーティスト活動を楽しむことが継続につながりますし、その楽しさが人々の共感を呼ぶようになります。



▲歌や楽器の演奏以外に動画編集のスキルも必要です



▲ YouTube チャンネルからコンテンツを発信します



やりたいこと
が見つかる!

音楽・芸能・楽器の専門学校

TOKYO



Entertainment

音楽アーティスト科

- ヴォーカルコース
- ダンスヴォーカルコース
- シンガーソングライターコース
- ギターヴォーカルコース
- サウンドクリエイターコース
- ギターコース
- ベースコース
- ドラムコース

声優芸能科

- 声優養成コース
 - ▶演技専攻
 - ▶アーティスト専攻
- 俳優養成コース

音楽芸能スタッフ科

- アーティストスタッフコース
 - ▶マネージャー/レコード会社専攻
 - ▶ファンクラブ/デザイン専攻
- レコーディングコース
- PA&レコーディングコース
- PAコース
- 照明コース
- ライブハウスコース
- ローディーコース
- 舞台製作コース
- 企画制作コース
- 音楽スタッフ総合コース
 - ▶プロダクション専攻
 - ▶サウンドエンジニア専攻
 - ▶照明/映像専攻

ピアノ調律科

- ピアノ調律コース
- ピアノ/管楽器コース

管楽器リペア科

- 管楽器リペアコース
- 管楽器/打楽器コース

ギタークラフト科

- ギター製作コース[2年制]
- ギター製作総合コース[3年制]
 - ▶ギター製作専攻
 - ▶ギターリペア専攻
 - ▶アンプ・エフェクター専攻
 - ▶ギターデザイン専攻
- 楽器技術研究科



OPEN CAMPUS

体験授業・学科共通説明会・コース別オンライン個別相談会

7月3日(日)

8月6日(土)

8月28日(日)

7月30日(土)

8月7日(日)

9月11日(日)

7月31日(日)

8月21日(日)

9月25日(日)

お申込み・体験授業の
詳細はコチラ



「平日学校見学会」・
「オンライン学校説明会」等も
開催中!

学校法人イーエスピー学園

専門学校 **ESPエンタテインメント東京**

入学事務局(本館)
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-19
TEL:03-3368-6840/FAX:03-3368-6815

0120-37-6986

<https://www.esp.ac.jp/tokyo/>



照明にまつわる仕事

光でステージを演出する仕事です

音楽やエンターテインメントに関する職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回は照明にまつわる仕事について、専門学校東京ビジュアルアーツ／音楽総合学科照明コースの龍野先生に伺いました。

— 照明の仕事全般について教えてください

龍野：軽音楽部に在籍している生徒の皆さんはわかると思うのですが、照明の仕事はコンサートやライブが主体になっており、他には日本だと和太鼓や三味線などの「和もの」をはじめ、「洋もの」ではパレエや古典芸能などがあります。それから、お芝居やミュージカル、オペラなどにも照明は付きものです。ちなみに、これらの「舞台照明」以外に、商業施設や飲食店に向けた「店舗照明」も照明にまつわる仕事の1つです。本校ではコンサートやホテルの照明の仕事に就く卒業生が多く、全国にある有名テーマパークに就職する卒業生もいます。

— 入学前に、ある程度の知識は必要ですか？高校時代にやっておいた方が良いことも教えてください

龍野：特に知識は必要なく、「日本は100Vです」ということがわかれば、良いと思います。これは私自身の経験になるのですが、若い頃にバンド活動をしていたおかげで「リズム感」が体に備わっているのと「楽譜を読む」というのが、すごく助かりました。クラシック音楽の現場に多いのですが、照明担当にも譜面が渡されるんです。その譜面を追いながらオペレートすることになるのですが、「今、どこを演奏しているんだろう？」というのがわからないと仕事にならないんです。私が多少の譜面を読む人間だったので、新人にもかかわらず大抜擢されたことがありました。そもそも、音楽や楽器に親しんでいるとアーティストが演奏を始めた瞬間から、その世界に入り込めるし、楽曲の起伏や「次は、こんな展開が来るのかな…？」という勘も働くので、

照明の世界では「強み」になると思います。

— この仕事の楽しいところを教えてください

龍野：音響と照明を比較すると、照明は視覚的に飛び込んでくるので、わかりやすいですね。ステージに立っているアーティストや演者が、自分のオペレートが良い時は「照明、すごく良かったです！」という風に言ってくれますし、良くない時はダメな点を指摘してくれるんです。もちろん会場にいる観客も同時に盛り上がってくれますし、例えば、音楽フェスティバルの現場では音響や照明のブースの周りは観客ばかりですので、そこでの感動は実際大きいんです。そのやりがいを感じられるところが楽しい部分だと思います。

照明は「生もの」なので、機材や技術は常に進化しています。私自身は学生の頃は勉強が好きではなかったのですが（笑）、今は一生懸命に勉強し、新しいものを吸収して、それをステージで実際に試してみる…というチャレンジができるのが、すごく楽しいです。もちろんクライアントの意向もあるのですが、ある程度はこちらからプレゼンテーションをするので、それが評価されると嬉しいですね。

— この仕事の大変なところを教えてください

龍野：いわゆる「3K（キツイ・汚い・危険）」に近いところでしょうか…。会場に入る時間は照明が一番早く、終演後、会場を後にするのも照明が一番遅いです。それから、音響も重たい機材がありますが、照明も同様、かつ物量が多く、細かい部品やパーツもあります。ドームでのコンサートの場合、スポットライトだけで何千台…という数になるんです。

それから、「緊張感」ですね。照明のプラン

ニングが思い浮かばない時が辛いです。アーティストからの要望も受けながら、照明の設計図を作らなくては行けないのですが、なかなかひらめかなかったり、ありきたりになりがちなところが大変に感じます。ただ、本番が終わって、客電を点けたところで「うまくいった良かった…」という達成感を感じるんですよね。その感動やホッとした瞬間があるから、僕自身も長年続けてこれたと思います。

— この仕事は、どんな人にオススメですか？

龍野：僕自身もそうなのですが、あまり真面目すぎるよりも、いろいろなことに興味を持ち、誰とでも気軽に会話ができて、コミュニケーションを取れるような人が向いていると思います。仕事の技術は続けていけば、自ずと付いてくるものなので、心配はいりません。

— この仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか

龍野：まずは「好きな気持ち」ですね。僕自身、「本当に照明が好きなんだな…」と思います。どの現場やプロジェクトもワクワクしますし、もちろん緊張もします。ですが、本番を無事に終えられた時のホッとした気持ちは何物にも変え難いものがあるので、いつもフレッシュな気持ちで臨んでいます。

そういう、いろいろなことに興味や関心を持ち続けるという「好き」の部分と、体力。そして、「負けないぞ！」という根気でしょうか。これは照明の業界に限ったことではありませんが、仕事を続けていると、どうしても壁にぶつかってしまうことがあります。それを乗り越える気持ちが大切です。

私は学生に「高校生の頃は、ただ単に遊んでいただけだったものを、意識を持って遊んでください」と伝えています。例えば、コンサート会場に足を運んだとしたら、今までは純粋にコンサートを楽しんでいただけだったところを、これからは「あの照明は、どの方向から当てているのだろうか？」とか「何人くらいのスタッフさんがいるのかな？」という視点で見たり、考えながら過ごすことができると良いな…と思います。



▲配線に気をつけながら、灯体を取り付けます



▲調光卓を使用して、灯体をコントロールします

General Music Department

Vocal Course
Guitar Course
Bass Course
Drums Course
Sound Creator Course
Public Address Course
Stage Lighting Course
Recording Course

Become a professional!

9月のTVAオープンキャンパス

9/4 (SUN), 11 (SUN), 18 (SUN), 24 (SAT), 25 (SUN)



経験不問 参加無料 要予約

ミュージシャンではボーカルやプレイヤーのパート別レッスン、課題曲でのバンドレッスン、スタッフではライブホールでPA・照明体験、スタジオでサウンドクリエイターのお仕事を体験しよう！

現役で活躍するプロの先生や在校生が丁寧に指導するので、ぜひお気軽にご参加ください！



ご予約はこちら！

音楽総合学科

第一線で活躍するプロが直接指導！
実践的カリキュラムで憧れの業界へ！

授業は実習をメインに、業界の第一線で活躍するプロが少人数体制で直接指導。徹底的に現場を意識した設備・環境の中で学びながら、2年間で現場の即戦力となる人材へと導きます！



Public Address



Vocal / Guitar / Bass / Drums



Sound Creator



Stage Lighting



Recording

TOKYO
VISUAL
ARTS

Adachi学園グループ

学校法人 **東京ビジュアルアーツ**
専門学校

〒102-0081 東京都千代田区四番町11 www.tva.ac.jp

お問い合わせ

東京ビジュアルアーツ 入学相談室

☎ 0120-64-6006

Email: info@tva.ac.jp



ミュージシャン学科

ボーカルコース
ギターコース
ベースコース
ドラムコース
サウンドクリエイターコース

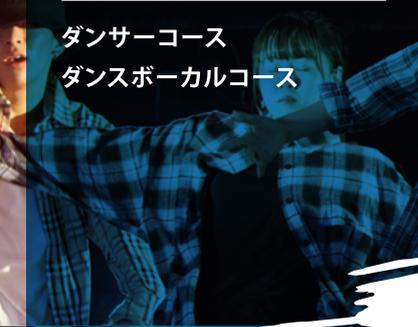


マスコミ出版・芸能学科

芸能マネージャーコース
企画・制作コース
ファンクラブスタッフコース
WEB出版コース
スポーツ出版コース
ファッション誌コース
アニメ出版コース

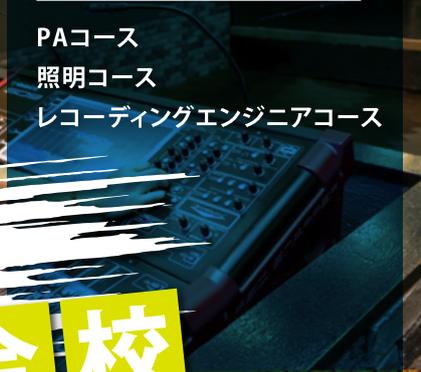
ダンス学科

ダンサーコース
ダンスボーカルコース



音響芸術学科

PAコース
照明コース
レコーディングエンジニアコース



エンターテインメント& クリエイティブの総合校

声優学科

声優コース
俳優・タレントコース



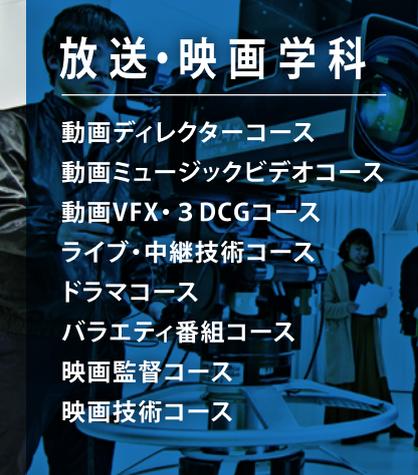
映像音響学科

映像音響コース



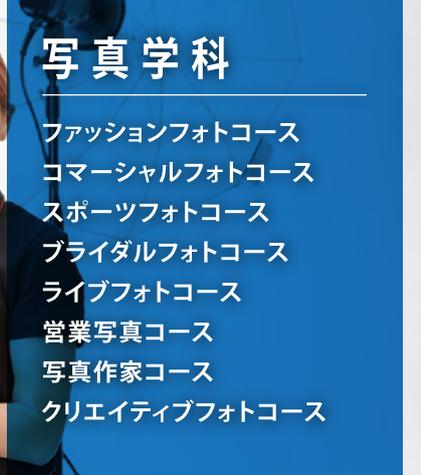
放送・映画学科

動画ディレクターコース
動画ミュージックビデオコース
動画VFX・3DCGコース
ライブ・中継技術コース
ドラマコース
バラエティ番組コース
映画監督コース
映画技術コース



写真学科

ファッションフォトコース
商業フォトコース
スポーツフォトコース
ブライダルフォトコース
ライブフォトコース
営業写真コース
写真作家コース
クリエイティブフォトコース



オープンキャンパス受付中!

詳しくは
下記または
学校HPへ

お問い合わせ

VAO 学校法人 Adachi学園
ビジュアルアーツ専門学校大阪
〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-23

[WEB] <http://www.vao.jp>
[フリーコール] 0120-69-2299
受付時間 9:00~18:00

[Email] info@vao.jp

公式SNS

LINE



Twitter



Instagram



文部科学省認定専修学校

職業実践専門課程認定校

全部わかるかな？

軽音ミュージッククイズ

MUSICQuiz 5



第1問

音楽理論

これが揃えば音楽として成立する、という「音楽の三要素」とは何？ ヒントは、ポピュラー・ミュージックでは当たり前のアレが入るかどうか…。



難易度



第2問

奏法 & テクニック

ドラムのスティッキングで、RLRR、LRLL~のように、シングル・ストロークとダブル・ストロークが混ざった手順の奏法の名前は？

難易度



第3問

楽器 & 機材

プレベの愛称で知られる世界初のエレクトリック・ベース「プレジジョン・ベース」。名前の由来である「プレジジョン=正確」なのは何？

- A: 電圧
- B: 音色
- C: ピッチ



難易度



第4問

音楽史

今や日本で数多く開催されている「野外フェス」ですが、そのきっかけの1つでもある「フジ・ロック」は、毎年新潟県で開催されているのになぜフジ？

- A: 元々、富士山の麓で開催していた
- B: 日本一を目指して

難易度



全問、答えられたかな？
今わからなくても、答えを知って覚えればいいんだ。
目指せ、軽音楽の「ものしり博士」。

正解と詳しい
解説はこちら…



Fender®

MUSTANG™
MICRO

PLUG IN. CUT LOOSE.



©2022 Fender Musical Instruments Corporation. All rights reserved.

DIGIRECO.JR

平成25年12月18日（水）創刊
令和4年8月20日（土）発行

■DIGIRECO.JR（〒212-0001・芝浦2-2-7）第11巻8号通巻54号 ■監布：高等学校経営者会 2.039校
■監修・発行：特定非営利活動法人（NPO法人）全国学校経営者会 〒224-0003 横浜市中区中山1-37-6-405 TEL：045-913-0901 FAX：045-913-1900

TEL：045-913-0901 FAX：045-913-1900

無茶